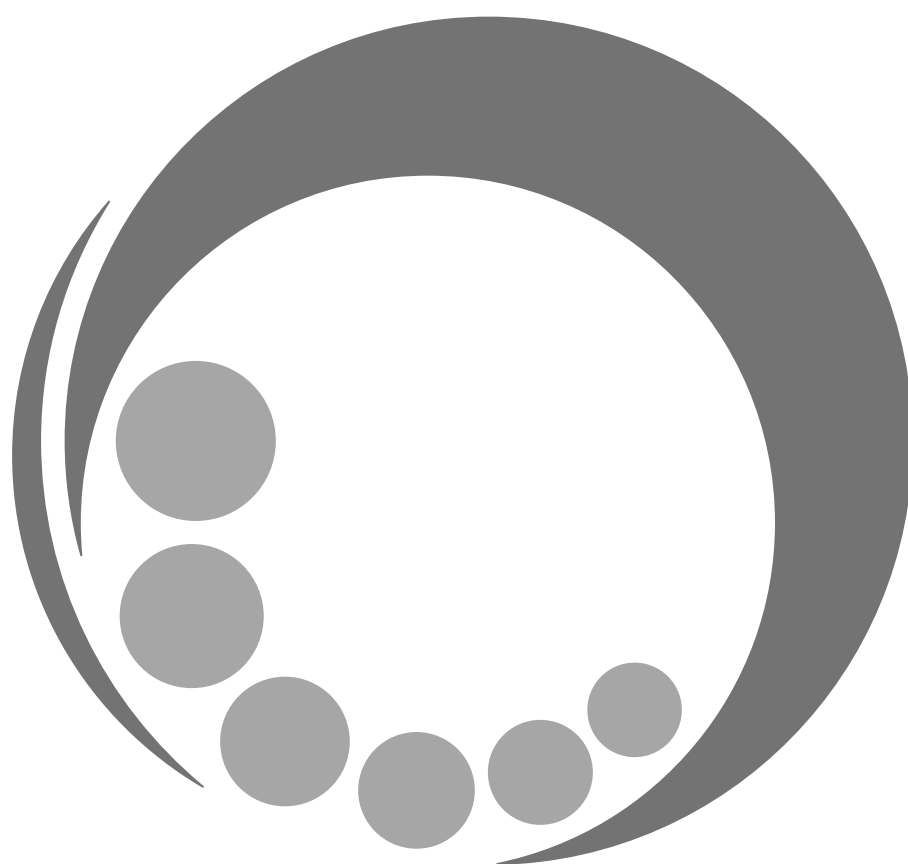


魚沼市歯科保健計画

平成 26 年度～平成 35 年度



平成 26 年 3 月
新潟県魚沼市

はじめに



歯及び口の健康は、単に食べるだけでなく、食事を味わうことや会話を楽しむことなど、健やかで豊かな生活を送る上で重要な役割を果たしており、むし歯や歯周病で歯を失うことは、生活の質（QOL）の低下をまねきません。歯及び口の健康を守ることは、全身の健康を守ることにつながります。

新潟県では、生涯を通じて、途切れることのない歯科保健対策が必要と考え、平成 20 年 7 月に全国に先駆けて「新潟県歯科保健推進条例」を制定しました。また、平成 23 年 8 月には国においても「歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法）」が施行されました。

当市では、平成 18 年 3 月に「魚沼市健康づくり計画（健康うおぬま 21）」を策定し、その後平成 22 年 3 月の改定では「食育」を推進するため「魚沼市食育推進計画」を包括する「魚沼市健康づくり計画」として策定しました。計画では「栄養・食生活」「身体活動・運動」「生活習慣病」「たばこ健康」「休養・こころの健康」「歯の健康」「介護予防」の 7 つを重点領域として設定し、歯科保健分野においても目標達成のために歯科保健事業を展開しているところです。

このような状況を踏まえ、子どもから高齢者、介護が必要になった人や障害をもっている人も、すべての市民の歯と口の健康づくりができるよう、地域の特性を活かした歯科保健の取り組みを総合的かつ計画的に推進し、生涯を通じて途切れることがない歯科保健を推進するため「魚沼市歯科保健計画」を策定しました。

この歯科保健計画は、「市民一人ひとりが生涯を通じて歯や口の健康を保ち、自分らしい生活を送る」を目標に、「乳幼児期」「園児期」「児童・生徒期」「成人期（妊娠期含む）」「高齢期」「要介護者等」の 6 つのライフステージ別に取り組みを示し、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域及び関係機関、市がそれぞれの特性を活かしながら連携し、協働して取り組むことを目指しております。

最後に、この計画の策定にあたっては、アンケートやインタビューなどの実態調査にご協力いただき、ご意見やご提言をいただきました市民の皆様、計画案をご審議いただいた歯科保健計画策定委員会の委員の皆様、貴重なご意見をいただきました関係機関、団体の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成 26 年 3 月

魚沼市長

大平悦子

目次

第1章 総論

- 1 計画策定の背景と目的 1
- 2 計画の基本方針 2
- 3 計画の位置づけ 3
- 4 計画の期間 3

第2章 現状と課題

- 1 現状 4
- 2 課題 5

第3章 対象別の取り組み

- 1 乳幼児期（0～3歳） 6
- 2 園児期（3～6歳） 10
- 3 児童・生徒期（6～18歳） 13
- 4 成人期（妊娠期含む）（19～64歳） 17
- 5 高齢期（65歳以上） 21
- 6 要介護者等 25

第4章 推進体制

- 1 計画の推進体制 27
- 2 評価 28

資料編

- 資料1 平成24年度「お口の健康」に関するアンケート調査結果 29
- 資料2 魚沼市国民健康保険医療費分析の概要 47
- 資料3 計画策定の経過 52
- 資料4 計画検討組織 委員名簿 53

第1章 総論

1 計画策定の背景と目的

歯及び口の健康は、単に食べるだけでなく、食事を味わうことや会話を楽しむことなど、生涯を通じて健やかで豊かな生活を送る上で重要な役割を担っています。

また、「自分の歯でよく噛む」ことは、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病予防や高齢者の介護予防等、全身の健康に影響しています。したがって、むし歯や歯周病にならない生活習慣を身につけ、歯及び口の健康を守ることで生活の質（QOL）の低下を防ぎ、全身の健康を守ることが大変重要な課題となっています。

歯科保健の推進に関して根拠となる法律は、法的基盤が弱い現状でした。そこで新潟県では、生涯を通じて途切れることのない歯科保健対策が必要と考え、平成20年7月に全国に先駆けて「新潟県歯科保健推進条例（平成20年新潟県条例第32号）」が制定されました。

また、平成23年8月には国においても歯科口腔保健に関する施策を総合的に推進することを目的とした「歯科口腔保健の推進に関する法律（平成23年法律第95号）（以下歯科口腔保健法という。）」が施行され、新潟県でも歯科口腔保健法の成立に伴い県歯科保健推進条例が改正されました。

本市においては、平成22年3月に「魚沼市健康づくり計画」を策定し、種々の健康問題を改善するために7つの重点領域を定め、「歯の健康」を重点領域の一つとして、むし歯や歯周病、歯の喪失予防に、地元歯科医師会をはじめ歯科保健に関係する方々とともに取り組んできました。

今回、市民一人ひとりが、歯及び口の健康の大切さを理解し、「自分の健康は自分で守る」ことを基本に、歯及び口の健康に関する正しい知識と選択力を習得し、実践することにより生涯を健やかに過ごすことができるよう、歯及び口の健康づくりを推進するため、「魚沼市歯科保健計画」を策定するものです。



2 計画の基本方針

歯科口腔保健法の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の中の「歯科口腔保健の推進のための基本的な方針」に「1 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小」、「2 歯科疾患の予防」、「3 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上」、「4 定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健」、「5 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備」の5つが示されています。

また、「魚沼市総合計画」の保健・医療・福祉分野の基本目標である「健康で安心して暮らせる保健と医療と福祉の充実したまちづくり～支え合い育み心かようまちへ～」の実現に向け健診や健康教育等の保健事業を実施しています。

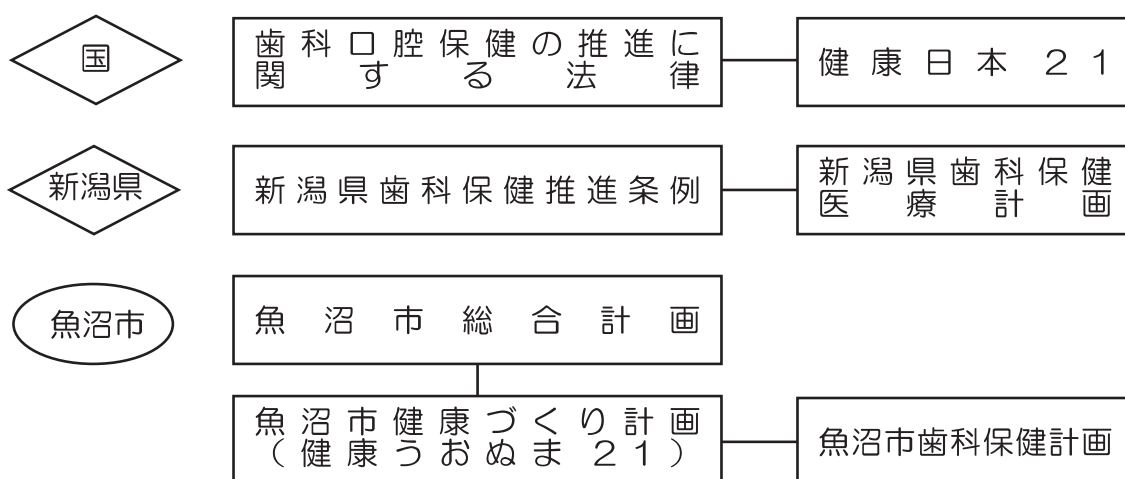
これらのことから本計画では、「市民一人ひとりが生涯を通じて歯や口の健康を保ち、自分らしい生活を送る」を目標とし、「乳幼児期」「園児期」「児童・生徒期」「成人期（妊娠期含む）」「高齢期」「要介護者等」の6つのライフステージ別に施策を示します。

乳幼児期（0～3歳）		障害のある方	
園児期（3～6歳）			
児童・生徒期（6～18歳）			
成人期（19～64歳）	妊産婦		
高齢期（65歳～）			
要介護者等（介護保険を利用される方）			

3 計画の位置づけ

「第1次魚沼市総合計画」を上位計画とし、市の健康づくり計画「健康うおぬま21」を始めとする各種関連計画と整合を保ちながら歯科保健の向上を目指します。

歯科口腔保健法及び新潟県歯科保健推進条例に基づく計画であり、歯と口腔の健康づくり及び疾病の発症を予防するための対策等を示すものです。



4 計画の期間

本計画は、平成26年（2014年）度を初年度とし、平成35年（2023年）度を目標年度とする10年間とします。

なお、計画期間中であっても、目的達成度など進捗状況の評価を行い、必要時見直しを行います。



歯や口の健康
普及マーク
「ハビィー」

第2章 現状と課題

1 現状

乳幼児期のむし歯の有病状況は近年大きく改善し、3歳児（3歳児健診）でむし歯のない児の割合は84.7%に達しています。（『H23年度母子保健事業報告』の3歳児健診むし歯有病率15.3%）この年の県平均値82.8%より高く、国の数値77.1%（H21年厚生労働省）よりも高く良好な状態になっています。

12歳児（中学校1年生）のむし歯の有病状況も年々改善しています。新潟県は12歳児1人平均むし歯数が最も少ない都道府県として13年連続日本一となっています。（文部科学省『学校保健統計調査』における平成12年度～平成24年度の13年間。新潟県の『歯科疾患実態調査』）平成24年度の全国平均値は1.10本で、新潟県の数値は0.62本ですが、魚沼市は0.41本で、県平均より少なくなっています。また、12歳児のむし歯のない生徒の割合は新潟県73.6%、魚沼市76.7%と県平均より3.1ポイント良い状況となっています。

フッ化物歯面塗布は1歳6か月児から3歳児まで半年毎に実施しています。フッ化物洗口はブクブクうがいのできるようになる年中児から始め、中学校3年生までの希望者に実施しています。魚沼市内の保育園・幼稚園、小中学校における施設実施率は、100%となっています。

母子保健事業報告、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査をあわせて、魚沼市を国や県のデータと比較すると、乳幼児期、園児、児童・生徒への歯科保健対策の効果が出ているものと考えられます。

成人歯科保健対策では、成人歯科健診は実施していませんが、『お口の健康チェック事業』を平成23年度から実施しています。実施内容は、歯科衛生士による唾液潜血試験・咀嚼^{そしゃく}能力判定試験・歯みがき指導等です。その中の唾液潜血試験結果では、歯肉炎や歯周炎の可能性のある唾液潜血（+）者は59.1%でした。国の平成17年歯科疾患実態調査によると「40歳代における進行した歯周炎を有する者（4mm以上の深い歯周ポケットを有する者）の割合は37.3%、60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合は54.7%」という結果が出ています。検査方法が異なるため数値を単純に比較はできませんが、国と同様に歯周炎を有する者の減少を進めていかなければならない状況にあります。

魚沼市国民健康保険の医療費分析をみると、平成22年度の魚沼市国民健康保険の医療費のうち「歯の疾患」の費用額の内訳は0～19歳が6%、20歳以上の成人・高齢者が94%を占めています。また、歯科医療機関への受診行動をみていくと、1人当たり費用額¹が県計より低く、1件当たり費用額²が県計より高く、受診率が低い状況です。この事は、症状が悪化してか

¹ 1人当たり費用額(円)とは、総費用額を被保険者数で除したもので、健康な者と病気の者を含めた1人当たりの値として、医療費水準を表すのに用いられる。

² 1件当たり費用額(円)とは、費用額を件数で除したもので、レセプト（診療報酬請求明細書の通称。病院や診療所が医療費の保険者負担分の支払いを保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する明細書）1件当たりの平均医療費を表すのに用いられる。

ら通院し、「定期的に歯科医療機関にかかって予防しよう」「自分の体のメンテナンスをしよう」という意識が低い可能性が伺えます。

平成 24 年 10 月に実施した「お口の健康に関するアンケート調査」から、小中学生は歯みがきを 1 日 3 回する人が多いが、成人は 1 日 2 回の人が多いことや歯間清掃用具を使用する人が小中学生より少ない結果でした。

これらのことから、成人への歯科保健対策を強化していくことが必要な状況にあります。

2 課題

乳幼児期、園児期、児童・生徒期への今後の歯科保健対策は、現在の“良い状態”を維持するため、毎年のデータを把握しながら現在実施している事業を継続していくことが大切です。

一方、各園・各学校ごとの差が見られることから、子どもに毎日接する職員が主体となり各施設の歯科健診結果や生活習慣の状況に応じた方法で、園の嘱託歯科医師・学校歯科医師・学校薬剤師と連携しながら対応を工夫することが求められます。

成人期・高齢期の歯科保健対策は子どもへの対策に比べて進んでいない状況があります。

平成 22 年度の魚沼市国民健康保険の医療費分析からは、「歯の疾患」の 1 人当たり費用額は 17,911 円と 10,000 円を超えており（国保連合会からの助言「1 人当たり費用額が 10,000 円を超える疾患は対策を考える」）、成人・高齢期への対策が必要な状況です。

1 件当たり費用額が高いことから重症化してから治療を受ける傾向があることや、市民アンケートからも子どもに比べて口腔ケアの意識が低い傾向があることから、早期治療や歯周病予防等の予防意識の向上のための働きかけを考えていく必要があります。

特定・基本健診会場と乳幼児健診会場で希望者に対して歯科衛生士による『お口の健康チェック』を実施しているものの、まだ開始 3 年目であり効果や内容の検討が今後必要となっています。

新潟県内には、成人歯科健診を事業化している市町村もありますが受診率が 10% 台と低い状況にあり、当市で事業化を検討する場合は、実施方法、費用対効果など十分な検討が必要となります。

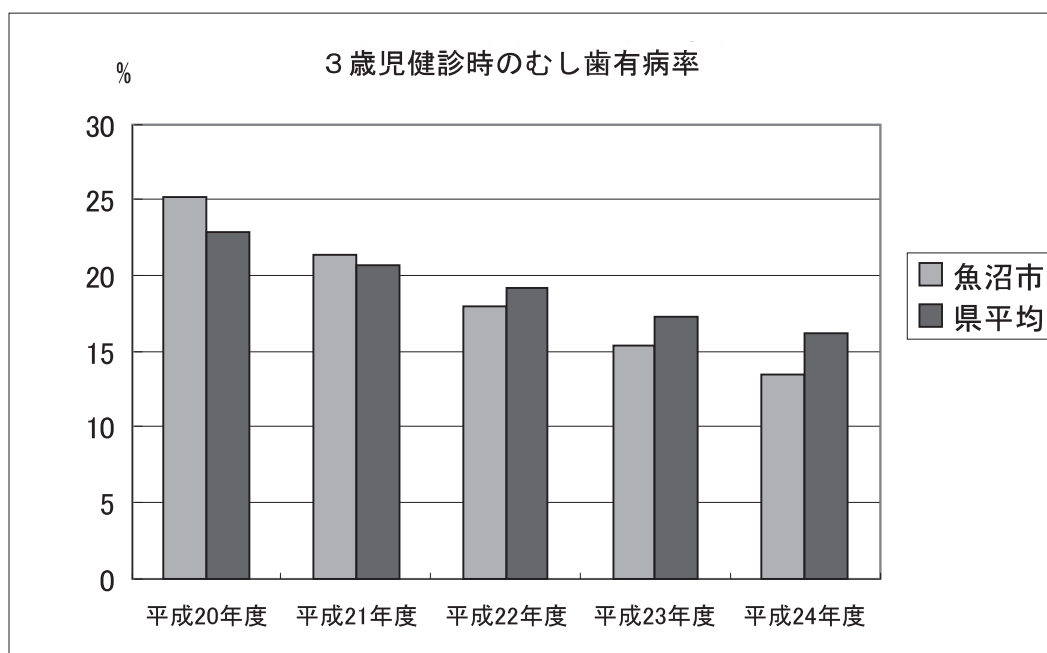
第3章 対象別の取り組み

本計画の目標である「市民一人ひとりが生涯を通じて歯や口の健康を保ち、自分らしい生活を送る」に向け、「乳幼児期」「園児期」「児童・生徒期」「成人期（妊娠期含む）」「高齢期」「要介護者等」の6つのライフステージ別に施策を示します。

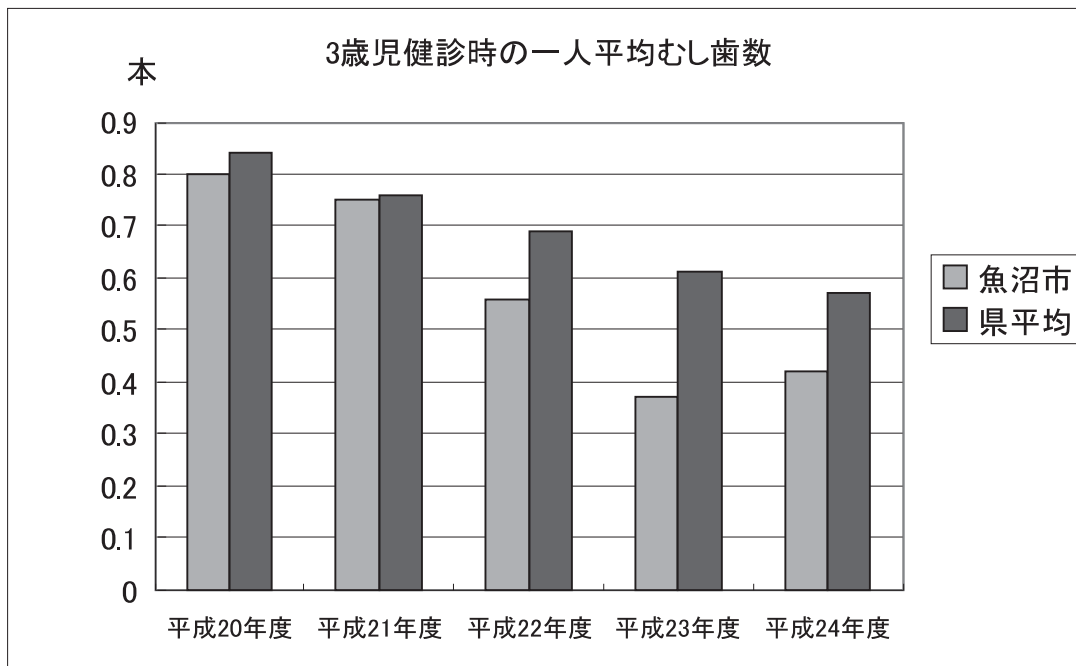
1 乳幼児期（0～3歳）

乳歯は生後7か月頃から生え始め、3歳頃に生え揃います。歯が生え揃うに従い、食べる機能や発音が完成していきます。乳歯のむし歯は永久歯に影響を与えることがあります。

魚沼市の3歳児健診の『むし歯有病率』は15.3%と県平均より2ポイント良い状況ですが、乳幼児期のむし歯予防の意識づけのためには生え始めから、保護者が子どもと一緒によりよい生活習慣を確立していく必要があります。



資料「母子保健事業報告」



資料「母子保健事業報告」

【市民の声】

(フォーカスグループインタビュー³ 等から)

- ・ 健診の時にフッ化物歯面塗布を受けている。実際の効果はよく分からない。
- ・ 家族が多いので食べ物を制限したいが取り組みたくても取り組めない。
- ・ 歯みがき粉のつけ方(量)や使う時期(タイミング)が分からないので、指導を受けたい。自分から聞かないと教えてもらえない。



³少数の集団(フォーカスグループ)に対して、座談会形式で聞き取りを行うこと。

<取り組み>

個人・家庭・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯が生え始めたら毎日仕上げみがきをし、口腔内を清潔に保つことを意識する。 ・ おやつは食事の一部ということを理解した上で、量と時間を決めて与え、ダラダラ食べることをさせない。 ・ 箸やスプーンの共用によるむし歯菌の感染を理解し、共用使用しない。 ・ 成長に合わせた食材の種類、大きさ、固さのものを取り入れ、家庭内でよく噛むことを心がける。
園・歯科医師会・歯科医院・県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園での歯科健診の実施と要治療者への受診勧奨を継続して実施する。 ・ 園からのお便り等を通じ、歯や食をはじめとする生活全般の基礎知識について情報発信する。 ・ 成長に合わせた食材の大きさや固さに配慮した給食を提供する。 ・ 園の歯科健診だけでなく、市の月齢に応じた健診の受診を勧める。 ・ 給食後の歯みがきを実施する体制を整える。 ・ 歯科医院は、定期的な受診を働きかけ歯みがき指導等を実施する。 ・ 県は、「障がい児（者）歯科保健推進事業」を実施する。
市（健康課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診・健康教育の継続実施をする。 ・ 仕上げみがきの必要性和時期を健診等の事業を通じ継続して啓発する。 ・ フッ化物歯面塗布の必要性を啓発し、希望者へ塗布を継続して実施する。 ・ 県の事業である「障がい児（者）歯科保健推進事業」の情報提供をする。

具体的事業

事業名	事業内容
○ 離乳食講習会	テキストを使い、歯の健康教育、離乳の進め方の講話及び調理体験を実施
○ 1歳よちよち教室	歯の健康教育、仕上げみがき体験及び健やかな成長を促す親子遊びを実施
○ 1歳6か月児健康診査	歯科健診、フッ化物歯面塗布についての説明及び個別相談、栄養相談、発達・発育支援を実施
○ 2歳児健康診査	集団での歯の健康教育、仕上げみがきの個別指導、栄養相談、保健相談を実施

○ 3歳児健康診査	歯科健診、フッ化物歯面塗布についての説明及び個別相談、栄養相談、発達・発育支援を実施 3歳児健康診査受診者を対象に、「親と子のよい歯のコンクール」を実施
○ 幼児フッ化物歯面塗布	1歳6か月児、2歳児、3歳児は歯科健診会場で、2歳6か月児は市内歯科医療機関で希望者にフッ化物歯面塗布を実施

新規・重点的な取り組み施策

- | |
|---|
| ○ 歯に関する健康教育を強化推進します
講話に実技を加え、個別に対応できる内容を継続的に実施します。 |
|---|

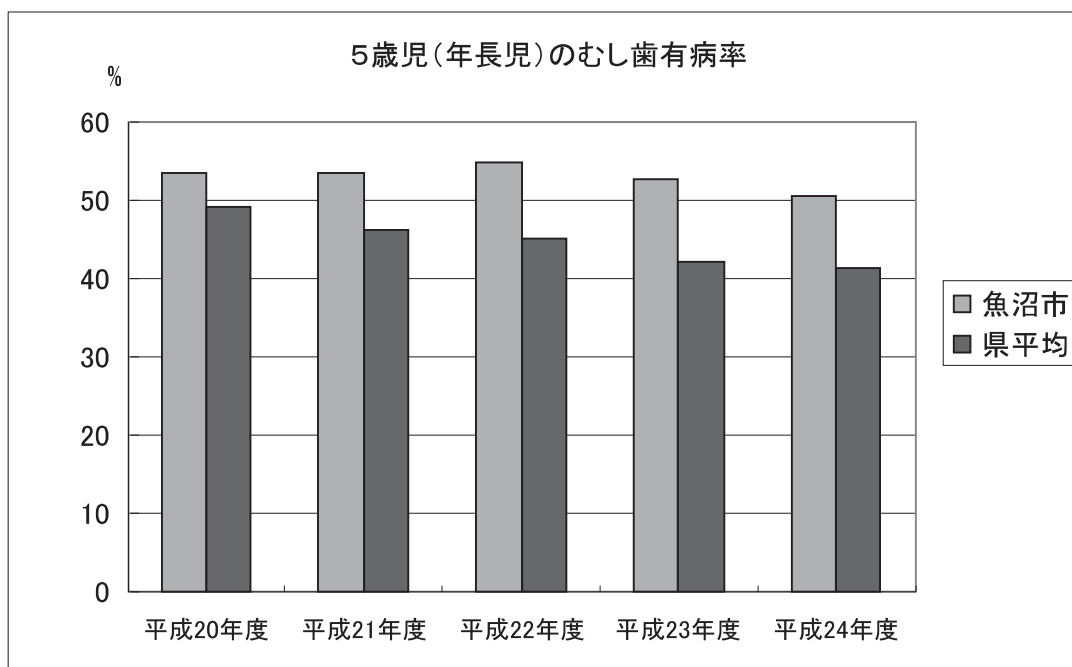


2 園児期（3～6歳）

3～4歳までに、乳歯が20本生え揃います。6歳頃には永久歯の『6歳臼歯』が生え始めます。からだの動きは全体のおおまかな動きが完成し、次第に細かい動きができるようになります。この頃に舌や唇の筋肉の運動を細かく調整する機能を獲得し、4歳代でカ行、ハ行、5歳代でサ行、ザ行、ラ行の発音が完成していきます。また、噛む、飲み込む、舐める、吸う、吹くといった食べる機能も同様に完成していきます。

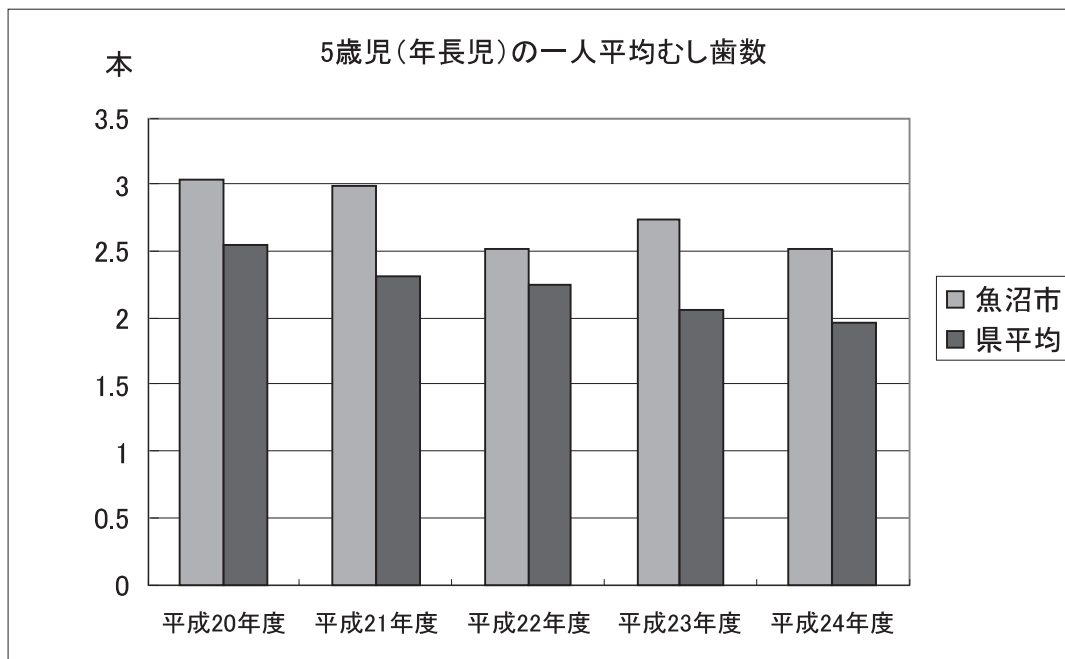
魚沼市の5歳児（年長児）のむし歯有病率、一人平均むし歯本数は、県平均よりも高い状況にあります。

園児期の歯や口の健康づくりは、むし歯予防に加え食べる機能や発音も含め子どもが健全に育つよう生活習慣を確立させていく必要があります。



資料「新潟県歯科疾患実態調査」





資料「新潟県歯科疾患実態調査」

【市民の声】

- ・ 子どもが喜んで歯みがきするにはどうしたらよいか。
- ・ 仕上げみがきは何歳まですればいいかを教えて欲しい。

<取り組み>

個人 ・ 家庭 ・ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日仕上げみがきをし、口腔内を清潔に保つことを意識する。 ・ おやつは食事の一部ということを理解した上で、量と時間を決めて与え、ダラダラ食べることをさせない。 ・ 箸やスプーンの共用によるむし歯菌の感染を理解し、共用使用しない。 ・ 成長に合わせた食材の種類、大きさ、固さのものを取り入れ、家庭内でよく噛むことを心がける。
--------------------------	--

<p style="text-align: center;">園・ 歯科医師会・ 薬剤師会・ 県 歯科医院・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園での歯科健診の実施と要治療者への受診勧奨を継続して実施する。 ・ 園からのお便り等を通じ、歯や食をはじめとする生活全般の基礎知識について情報発信する。 ・ 成長に合わせた食材の大きさや固さに配慮した給食を提供する。 ・ 給食後の歯みがき及び、希望者にはフッ化物洗口を推進する。 ・ 各園が「保育所保育指針」や「幼稚園指導要領」に基づき計画・立案し、園に応じた内容でむし歯予防事業を継続して実施する。 ・ 歯科医院は、定期的な受診を働きかけ歯みがき指導等を実施する。 ・ 県は、「障がい児（者）歯科保健推進事業」を実施する。
<p style="text-align: center;">市 (子ども課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嘱託歯科医師と連携を取り、各園での歯科健診の円滑な実施及び実態把握をする。 ・ 各園が計画・立案したむし歯予防事業の円滑な継続実施ができるように、必要に応じて健康課と連携しながら支援する。 ・ 県の事業である「障がい児（者）歯科保健推進事業」の情報提供をする。

具体的事業

事業名	事業内容
○ 園だより・給食だより（献立表）・食育だよりや掲示物による啓発	園児や保護者を対象に、お便りや掲示物をとおしてむし歯予防や健康な歯の維持、歯みがき、「噛むこと」の大切さなどについて啓発
○ 給食・食育指導	年少児・年中児・年長児の各年代毎に、給食指導や食育指導を実施
○ 歯科健診（各園で実施）	就園児を対象に歯科健診を年2回実施 健診結果を基に、歯みがき指導や健康教育を実施
○ フッ化物洗口	年中児、年長児を対象に、市内私立・公立全園で希望児に対してフッ化物洗口（週5回法）を実施

新規・重点的な取り組み施策

<p>○ 噛む力をつける健康教育を推進します 噛む力に代表される食べる機能は発音にも影響することから、口腔機能が完成する時期に『噛む力』を意識した取り組みを進めます。</p>

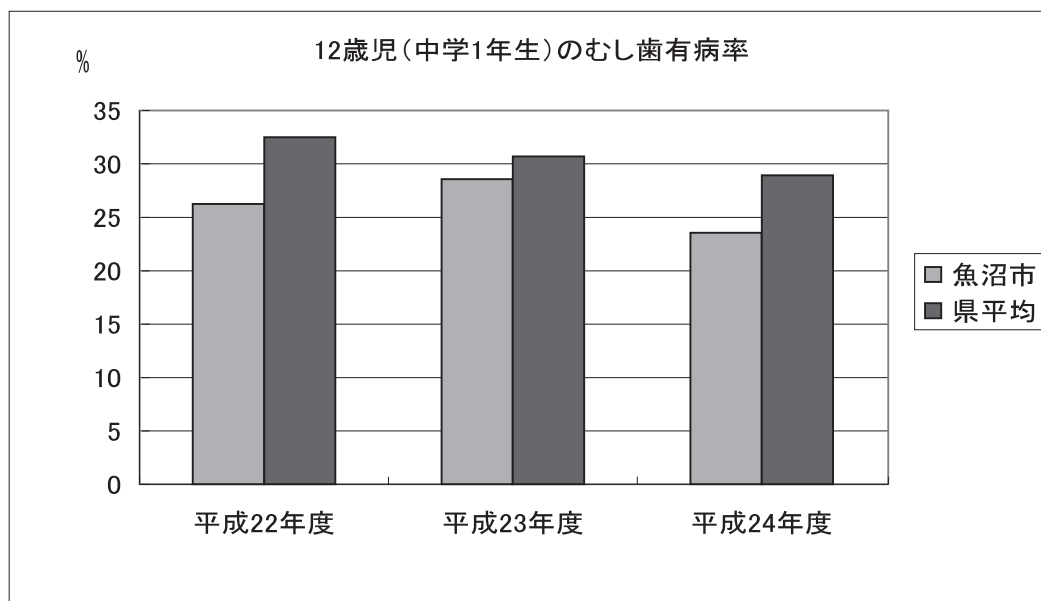
3 児童・生徒期（6～18歳）

乳歯から永久歯への生えかわり期です。生えたばかりの永久歯は未成熟でむし歯が多発しやすい時期です。また、歯の生えかわり期は、歯並びが複雑なことも重なり、歯肉炎が増加しやすいため、予防が必要です。

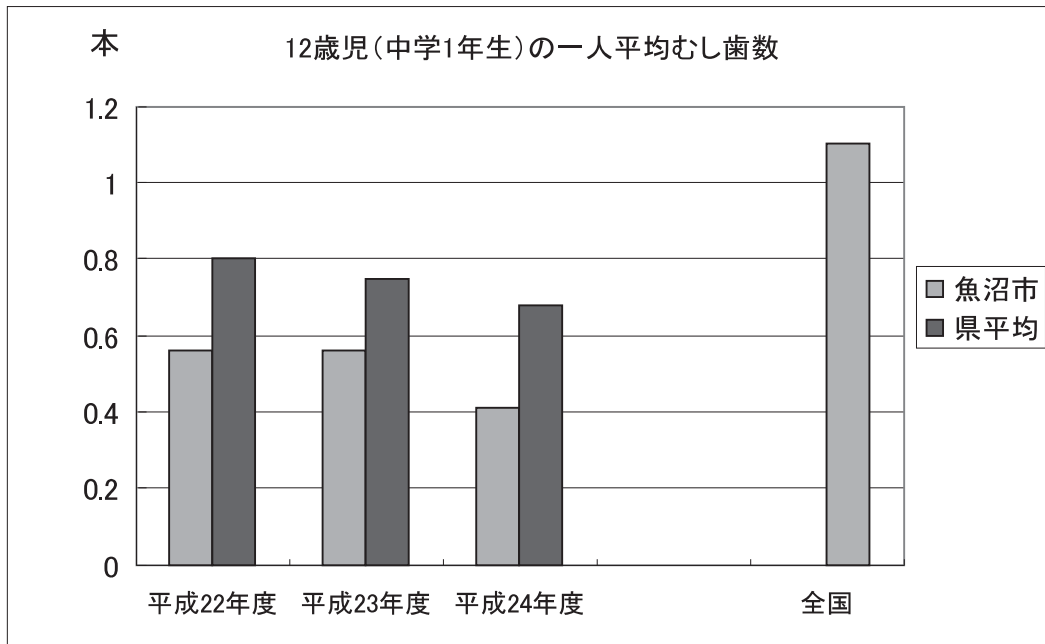
歯みがきは、子ども自身でかなり上手にできるようになりますが、仕上げみがきや口腔観察は10歳くらいまでは必要なので保護者への知識の普及も重要です。

平成24年度の12歳児（中学1年生）の一人平均むし歯数は、新潟県は0.62本と13年連続して日本一少ない状況であり、さらに魚沼市の状況は0.41本とその数値よりも良好といえます。この良好な状態を維持していくことが重要です。

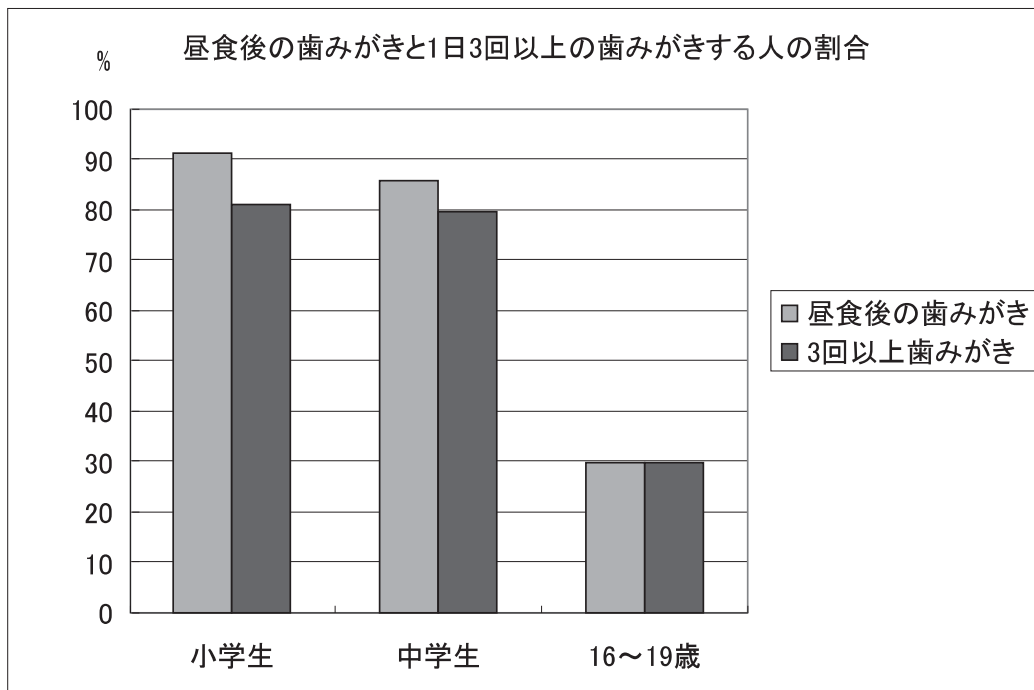
なお、市民アンケート結果から小学生は91.1%、中学生は85.8%が昼食後に歯をみがいています。1日3回以上歯をみがく人の割合は小学生が72.5%、中学生が69.6%でした。しかし、16～19歳の年代では1日3回以上歯をみがく人の割合は29.8%と著しく減少しています。この年代への取り組みを検討する必要があります。



資料「学校保健統計調査」



資料「学校保健統計調査」



資料「平成24年 お口の健康に関するアンケート調査」

【市民の声】

- ・ 父、母などが仕上げみがきをしている。
- ・ 子どもには「歯をみがきなさい」と声をかけている。

<取り組み>

個人・家庭・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいブラッシング方法を身につけ実施する。 ・ 10歳くらいまでは仕上げみがきや口腔観察を1日1回はする。 ・ 成長に合わせた噛み応えのある食材を取り入れ、家庭内で噛むことを意識する。 ・ 嗜好品（特に甘味飲料）の適時、適量の取り方を理解し、実践する。 ・ かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯みがき指導等を受ける。
学校・歯科医師会・薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診の実施と要治療者への受診勧奨を継続して実施する。 ・ 学校からのお便り等を通じ、歯や食をはじめとする生活全般の基礎知識について情報発信する。 ・ 成長に合わせた食材の大きさや固さに配慮した給食を提供する。 ・ 給食後の歯みがき及び、希望者にはフッ化物洗口を継続し実施する。 ・ お口の健康教室やたばこに関する健康教室を各学校に応じた内容で継続して実施する。 ・ 歯科医院は、定期的な受診を働きかけ歯みがき指導等を実施する。
市（学校教育課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校歯科医と連携を取り、各学校での歯科健診の円滑な実施及び実態把握をする。 ・ 小中学校のむし歯と歯肉炎の予防事業が円滑に継続実施ができるような支援をする。 ・ むし歯、歯周病予防の大切さや歯によい生活習慣について啓発する。

具体的事業

事業名	事業内容
○ 給食・食育指導	給食指導において「噛むこと」の大切さについての指導を実施
○ お便りや掲示物による啓発	小・中学生や保護者を対象に、お便りや掲示物をとおして、むし歯予防や健康な歯の維持、歯みがきなどについて啓発
○ 歯科健診	小・中学生を対象に歯科健診を実施 要治療者については、受診勧告を実施
○ お口の健康教室（新潟県歯科保健協会事業を活用）	小学生（4～6年生）及び中学生（1年生）を対象に、歯科衛生士の講話、ブラッシング指導を実施
○ フッ化物洗口	小学生・中学生を対象に、市内全校で希望者に対してフッ化物洗口（週1回法）を実施

新規・重点的な取り組み施策

- 高校生の歯に関する働きかけを検討します
家族から自立する思春期であることを踏まえ、市から本人への働きかけのみならず、県立高校と連携した取り組みについて働きかけを検討していきます。



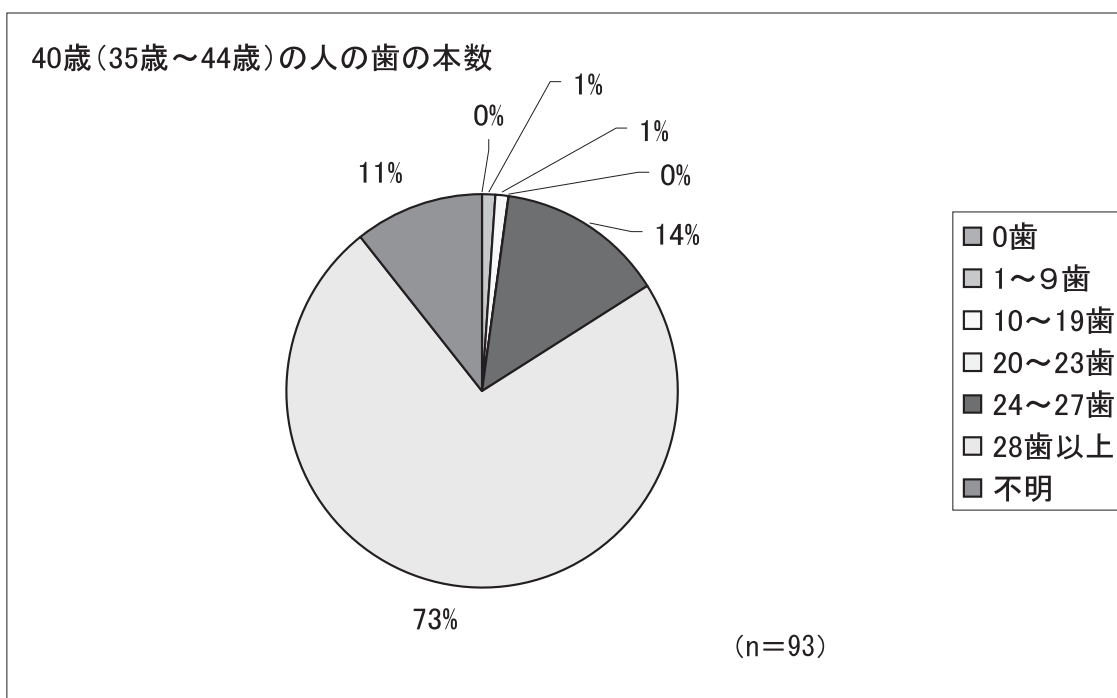
4 成人期（妊娠期含む）（19～64歳）

歯周病（歯肉炎・歯周炎）の急増期です。歯周病はむし歯と並ぶ歯科の
二大疾病の一つであり、歯を失う最も多い原因となります。市民アンケ
ー
ト結果から、40歳（35歳～44歳）で歯が28本以上の人の割合は73%、60歳（55
歳～64歳）で歯が24本以上の人の割合は63%です。

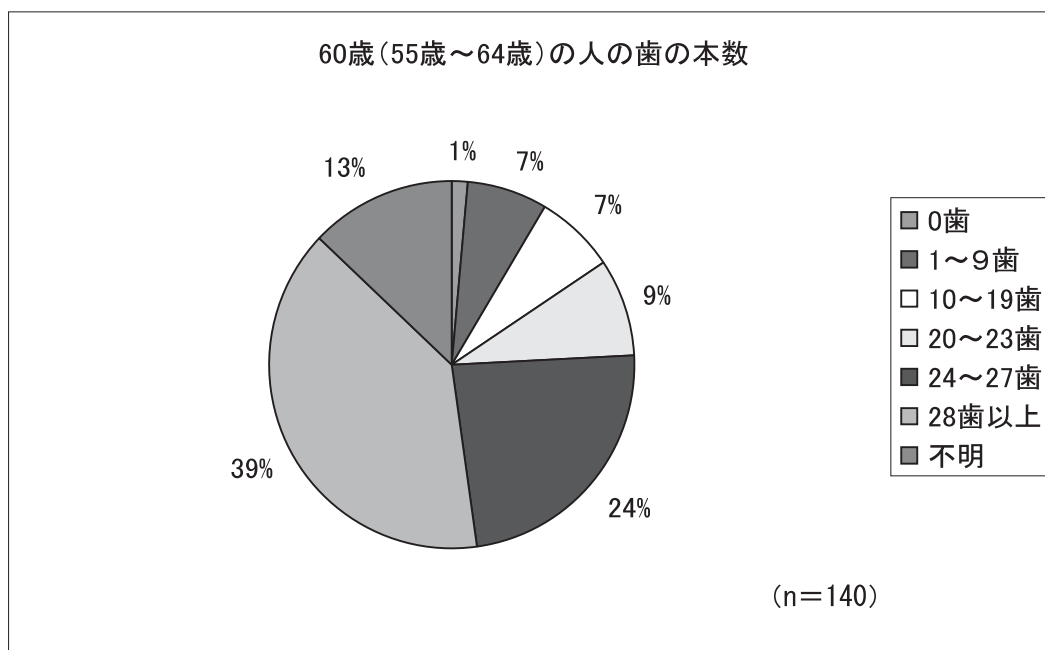
歯周病は糖尿病や循環器疾患等との関連性が指摘されており、成人期に
おいて重要な健康課題となっています。

歯や口の健康を守ることは、全身の健康を守ることにつながるため、高
齢期になる前から取り組む必要があります。

妊娠期は女性ホルモンの影響で、歯肉は腫れやすく出血しやすくなりま
す。また、唾液の分泌量や粘稠性^{ねんちようせい}も変化し、口の中がむし歯になりやすい
環境になります。時期を逃さずに治療や歯みがき指導等を受けられるよう
口腔衛生の大切さを啓発していく必要があります。



資料「平成24年 お口の健康に関するアンケート調査」



資料「平成24年 お口の健康に関するアンケート調査」

【市民の声】

- ・ 長く自分の歯を保ちたい。
- ・ 定期的に歯医者に行ったほうが良いと思うが症状がないと行けない。あまり行きたいところでない。
- ・ 歯ブラシは月1回取り替えている。電動歯ブラシの方がいいかなと思ったりしている。
- ・ たばこをやめた方がいいだろうが、やめられない。せめて口の洗浄液等使いたい。
- ・ 会社が終わってから(17:00以降に)行ける歯科医院があるとよい。

<取り組み>

個人 ・ 家庭 ・ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ歯科医院を持ち、定期的に受診し歯科指導を受ける。むし歯や歯周病等症状があったら早めに受診する。 ・ むし歯予防・歯周病について正しい知識を持ち、正しい歯みがき習慣やフッ化物入り歯みがきの応用など自己管理する力を身につける。 ・ デンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具を使用する。 ・ 地域の食文化を大切にしながら、よく噛んで食べる。 ・ 外食した時も歯をみがけるように、飲食店は歯みがきしやすいよう配慮する。
--------------------------	---

歯科 歯科 医師 会 ・ 県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医院は定期的な受診を働きかけ歯みがき指導等を実施する。 ・ 県は、「障がい児（者）歯科保健推進事業」を実施する。 ・ 県は「リフレッシュ出前講座（口腔ケアコース）」を実施する。
市 （ 健康 課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯や口の健康を保つことの大切さを伝える機会をつくり、普及啓発に努める。 ・ 歯や口の健康に関心を持つ動機付けとするために『お口の健康チェック』を継続実施する。 ・ 歯科医療機関の一覧表を作成し、市民に全戸配布して、かかりつけ歯科医院を持つことや受診方法等の周知に努める。 ・ 県の事業である「障がい児（者）歯科保健推進事業」「リフレッシュ出前講座（口腔ケアコース）」の情報提供をする。

具体的事業

事業名	事業内容
○ お口の健康チェック	特定健診会場での健診受診者及び乳幼児健診会場で保護者を対象に、唾液潜血試験及び咀嚼力判定試験とチェックシートを用いた歯科衛生士による指導を実施 パンフレットを個別に手渡し、口腔衛生の大切さ、禁煙・受動喫煙防止の啓発
○ 健康手帳交付	健康手帳交付時に口腔衛生の大切さ、禁煙・受動喫煙防止の啓発
○ 住民健診の結果通知	パンフレットを使用し、口腔衛生の大切さ、禁煙及び望ましい食生活の啓発
○ 母子健康手帳交付	母子健康手帳交付時にパンフレットによる口腔衛生の大切さ、受動喫煙防止の啓発
○ パパママ準備教室	パンフレットを使用し、口腔衛生の大切さ及び望ましい食生活の啓発
○ 新生児・妊産婦訪問 （生後 28 日までの新生児のいる家庭に、家庭訪問を実施する事業）	子どもの家族を対象に、大人の口の中の細菌が子どもに感染しないよう感染予防の指導を実施（箸・スプーン等の大人と子どもの共用禁止、口移しの禁止等）

新規・重点的な取り組み施策

- お口の健康チェックを継続実施します
事業を開始して3年目であり、継続していく必要があります。
- 成人歯科健診の実施を検討します
成人歯科健診は未実施ですが、歯や口腔の健康を保つ方法として何が効果的であるかを検討します。歯周疾患が発生しやすい年代への「歯科健診クーポン券」等を検討します。
- 歯科健康教育の実施方法を検討します
単独で実施している集団健康教育を、定期的な実施ができるよう検討します。



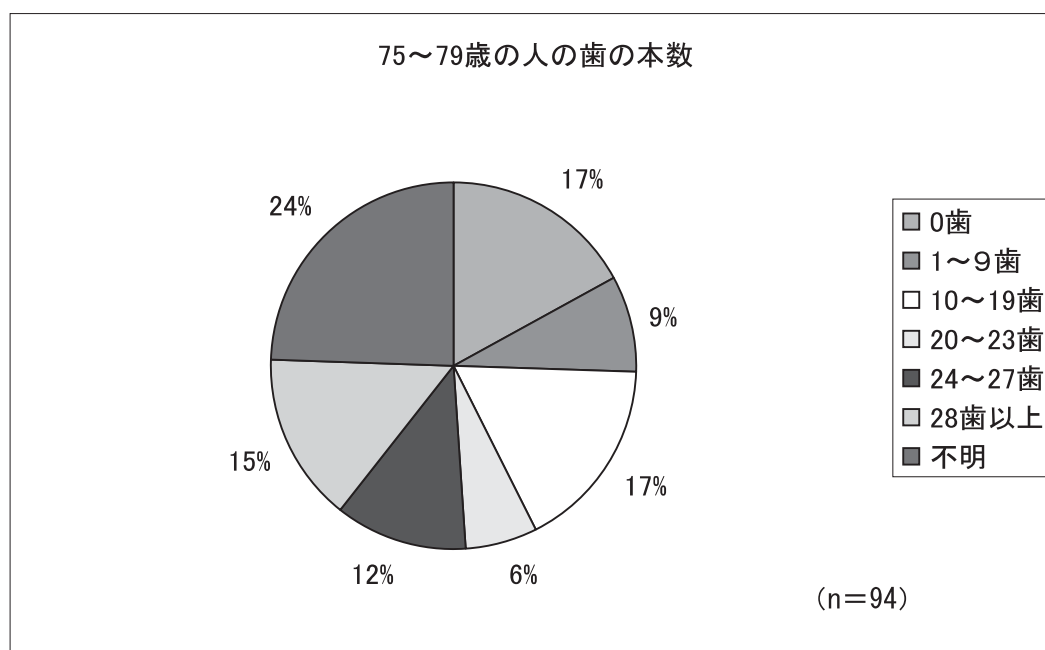
5 高齢期（65歳以上）

歯の喪失が急増し、食べる、飲み込むなどの摂食嚥下機能^{えんげ}が低下したり、会話などコミュニケーション能力にも影響しやすい時期です。

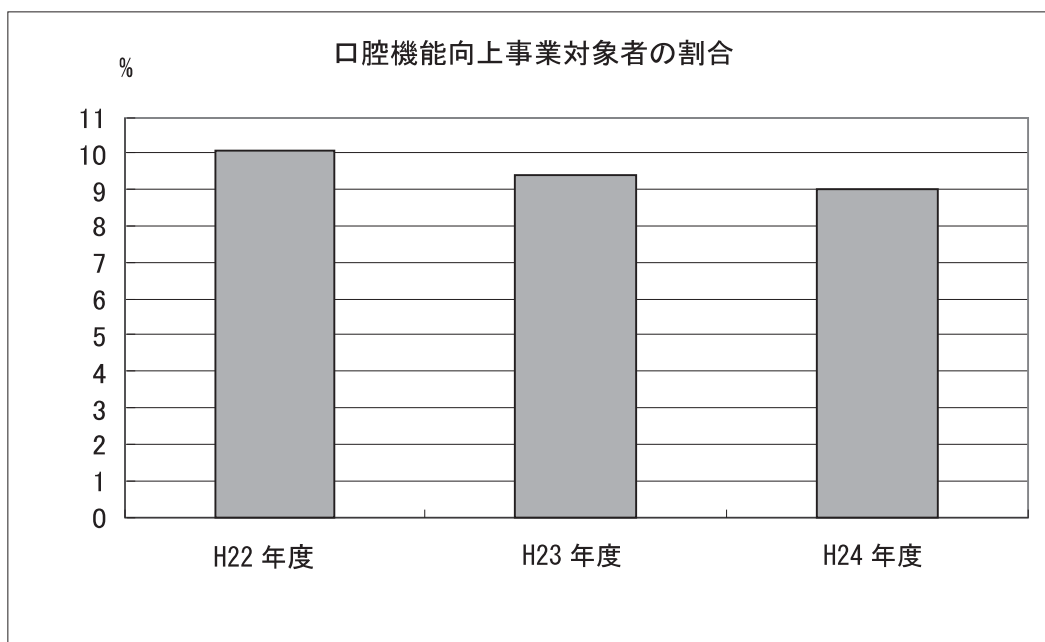
20本以上の自分の歯があれば、ほとんどの食べ物を噛みくだくことができ、おいしく食べられるといわれていますが、市民アンケートの結果から75～79歳の方で自分の歯が20本以上ある人は33.0%でした。歯が20本以上ある人には現状維持を、20本以下の人には義歯の手入れをすすめ、摂食嚥下機能の低下を防ぐ必要があります。

摂食嚥下機能の低下は、生活に大きな不自由が生じるとともに、誤嚥^{ごえん}や窒息の危険もあります。また、高齢者の肺炎の多くが摂食嚥下機能の低下によって引き起こされる誤嚥性肺炎と言われており、予防に取り組んでいく必要があります。

介護予防チェックリストの集計結果から、口腔機能向上事業の該当者が9.0%います。口腔機能を維持、向上できるような支援が必要です。



資料「平成24年 お口の健康に関するアンケート調査」



資料：福祉課 介護予防基本チェックリスト集計結果

- 口腔機能向上事業対象者
 日常生活で必要となる機能を確認するために65歳以上の人を対象に「介護予防基本チェックリスト」を行い、回収した中で口腔機能の低下がみられた人

【市民の声】

- ・ 歯医者に行ってみないと自分に合うかどうか分からない。
- ・ 歯医者には、なかなか入れ歯が合わないと言えない。
- ・ 歯ぐきをみがいている。
- ・ ゆっくり、よく噛んで食べなきゃと思う。噛むって、良いことだ。
- ・ 歯みがきしているし、入れ歯を毎日洗浄液に浸けている。

<取り組み>

個人 ・ 家庭 ・ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ歯科医療機関を持ち、定期的に受診し歯科指導を受ける。 ・ 歯や口の健康が全身の健康や認知症等に影響することを知る。 ・ 歯を喪失しないよう、歯や口の手入れをする。 ・ 地域の集まりや老人クラブなど人が集まる機会があったら、歯や口の健康を話題にし関心を持つ。
歯科 医院 ・ 歯科 医師 会 ・ 県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医院は、受診者にあわせた指導を実施する。 ・ 歯科医院は、定期的な受診を働きかける。 ・ 県は、「障がい児（者）歯科保健推進事業」を実施する。
市 (福祉 課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯や口の健康を保つことの大切さを伝える機会をつくり、普及啓発に努める。 ・ 誤嚥性肺炎や低栄養予防の必要性について普及啓発する。 ・ 地域の高齢者の集まりや老人クラブなど人が集まる機会を利用して、歯みがきやお口の体操を伝える。 ・ 県の事業である「障がい児（者）歯科保健推進事業」の情報提供をする。

具体的事業

事業名	事業内容
○ 訪問型介護予防事業 (口腔機能の向上)	介護予防の二次予防事業対象の高齢者に対し自宅を訪問し、お口の体操や口腔清掃指導などを歯科衛生士が実施
○ 普及啓発型健康教育事業 (転倒予防教室)	高齢者を対象に転倒予防の体操をする時に、歯や口の健康についての健康教育を実施 お口の体操を指導
○ 普及啓発型健康教育事業 (口腔機能の向上)	介護予防の一次予防事業の対象の高齢者に歯科衛生士が集団指導を実施

新規・重点的な取り組み施策

- 普及啓発型健康教育事業の転倒予防教室を継続して実施します
転倒予防教室では体操をしていますが、歯科口腔保健についての健康教育（ミニ講話）も取り入れていきます。
- 普及啓発型健康教育事業の「口腔機能の向上」を継続して実施します
地域の高齢者の集まりや老人クラブなど人が集まる機会を利用して、歯みがきやお口の体操を伝えていきます。
- 歯科口腔保健の普及啓発の方法を検討します
普及啓発型健康教育事業に参加していない方への普及啓発の方法を検討します。

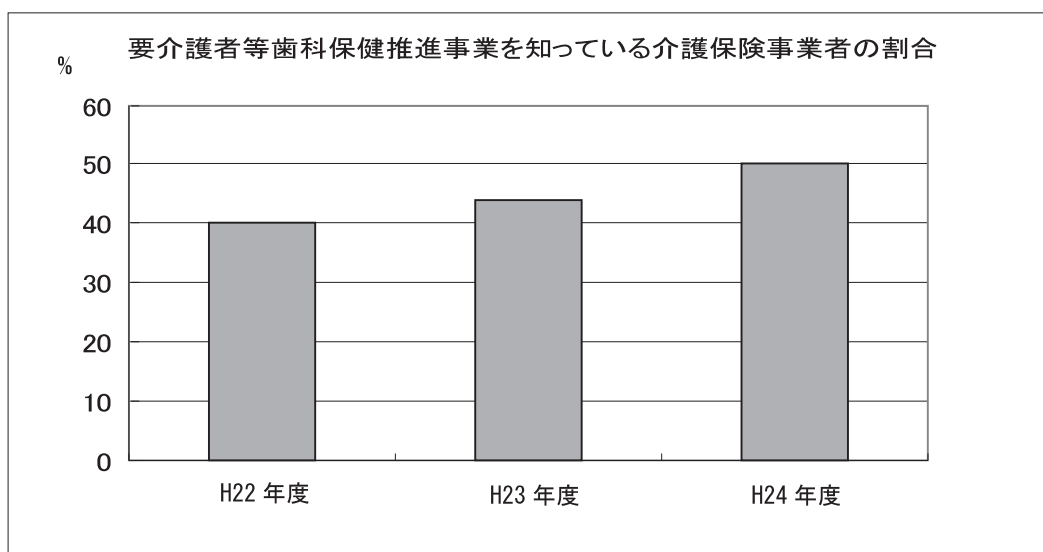


6 要介護者等(※自分自身で口腔ケアのできない障害者も含みます)

要介護者は、自分自身での口腔ケアが困難な場合があります。しかし、食べることが生命維持や生活の質の向上に欠かせません。

要介護者自身での口腔ケアや介助者による口腔ケアを実施し、摂食嚥下機能を維持できるよう支援する必要があります。

要介護者は、歯科医院への通院が困難な場合があります。介護保険事業者は、要介護者に接する機会が多いため、県や市が実施する事業内容を把握し紹介することが重要です。



資料：福祉課 地域ケア会議資料

【市民の声】

- ・ 口の中なのでケアを嫌がる人もいて難しい。
- ・ 介護施設の通所者は施設で口腔ケアしても家ではできず義歯が汚れている人がいる。
- ・ 要介護の状態でも定期的に歯科医院で診てもらっている人もいる。
- ・ 口や舌を動かすと唾液が出て、おいしく食べられると説明すると一生懸命に口の体操をする。

<取り組み>

個人・地域・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や介護施設職員等の支援を受け、口腔ケアを実施する。 ・ かかりつけ歯科医療機関を持ち、定期的を受診し、家庭でできる口腔ケア方法の指導を受ける。 ・ 要介護者には、口腔ケアが重要であることを理解する。 ・ 摂食嚥下機能の低下から誤嚥性肺炎の予防が必要であることを知る。
歯科医師会・県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医院は、希望者への訪問歯科診療を継続する（県事業「要介護者等歯科保健推進事業」）。 ・ 歯科医院は訪問歯科診療時、必要な指導を実施する。 ・ 県は「要介護者等歯科保健推進事業」「障がい児（者）歯科保健推進事業」「口腔ケア実地研修会」を実施する。
市（福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険事業者への指導・支援をする。 ・ 県事業である「要介護者等歯科保健推進事業」「障がい児（者）歯科保健推進事業」「口腔ケア実地研修会」について、介護保険事業者に情報提供する。

具体的事業

事業名	事業内容
○ 介護保険事業の活用	介護保険制度の中で要支援・要介護認定を受けている人が利用できるサービス
○ 新潟県が実施する「要介護者等歯科保健推進事業」の紹介	要介護状態で歯科受診が困難な人に対し、歯科医師が自宅を訪問し、指導を実施 介護保険事業者等の関係者に事業を周知

新規・重点的な取り組み施策

○ 誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアが重要であることを周知していきます
○ 要介護状態になっても、自分でしっかり噛んで食べることの大切さを周知していきます



第4章 推進体制

1 計画の推進体制

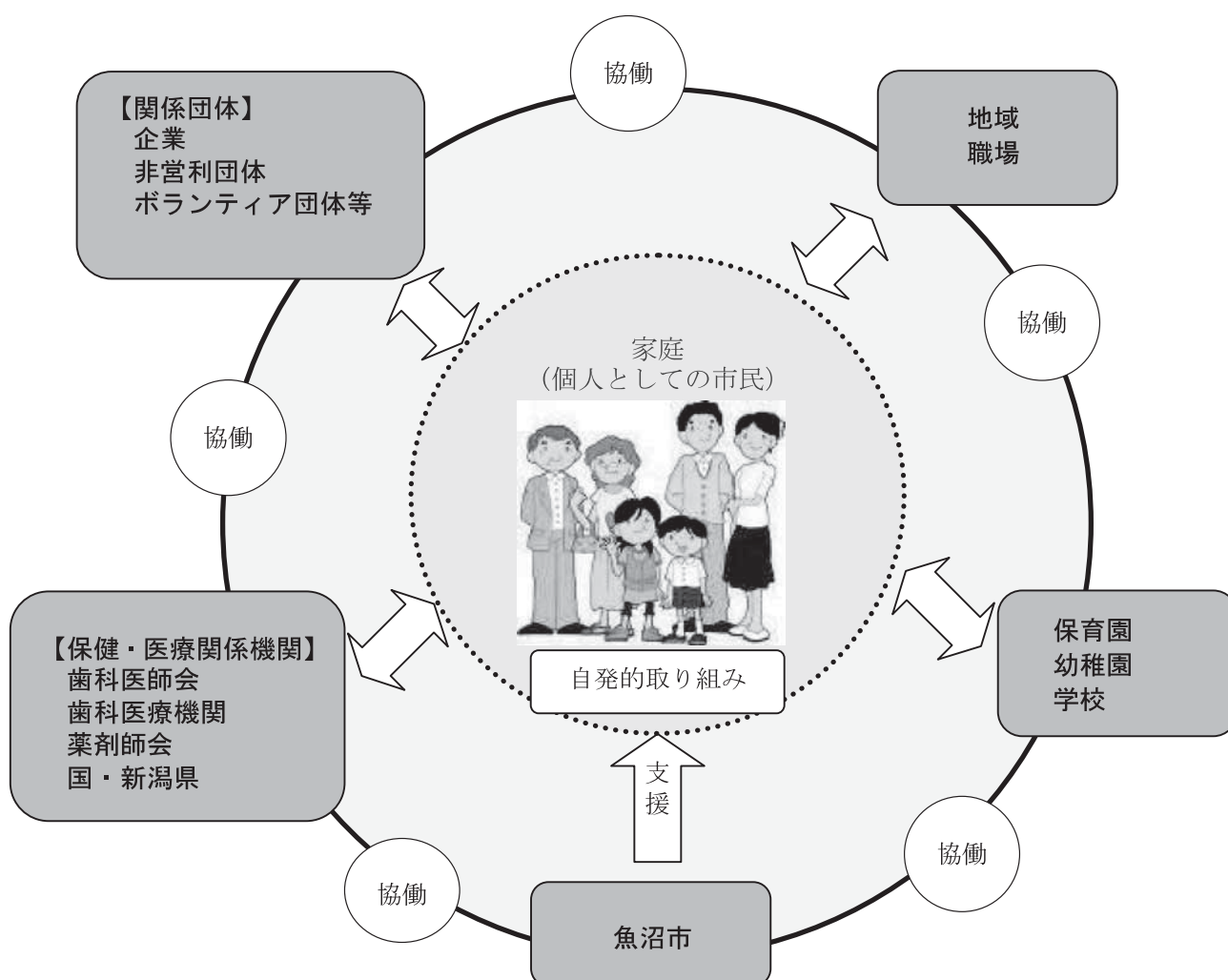
健康づくりの主役は市民であり、日常生活において市民一人ひとりが主体的に実践していくことが求められます。

今後、歯科保健計画を推進していくに当たり、市民一人ひとりが歯や口腔の健康づくりを実践できるよう、保育園・幼稚園、学校、歯科医師会、歯科医院といった関係機関、行政等が情報を共有し、連携しながら取り組んでいきます。

計画の推進にあたっては、庁内及び関係機関等による連絡会議を開催し、計画の進捗状況を確認し、計画が事業展開につながっているかを検証していきます。

計画の内容を広く市民に周知・啓発するため、各種健康診査や保健事業の機会を通じてPRを図ります。また、広報やホームページなどを通じて公表します。

■「魚沼市歯科保健計画」推進体制■



2 評価

本計画の評価は、以下の評価指標と目標値に基づき、計画最終年度の平成35年度に行います。

(1) 現状維持や減少を目指す指標

評価指標	スタート (H24)	目標値 (H35)	データソース
3歳児のむし歯有病率	13.5%	10%	母子保健事業報告
3歳児の1人平均むし歯本数	0.42本	維持	母子保健事業報告
5歳児のむし歯有病率	50.5%	40%	歯科疾患実態調査
5歳児の1人平均むし歯本数	2.51本	2.0本	歯科疾患実態調査
12歳児のむし歯有病率	23.4%	維持	学校保健統計調査
12歳児の1人平均むし歯本数	0.41本	維持	学校保健統計調査
魚沼市国保のう蝕に関わる1件あたり費用額	15,268円(H22)	減少	魚沼市国保医療費分析

(2) 増加を目指す指標

評価指標	スタート (H24)	目標値 (H35)	データソース
40歳で喪失歯のない者の割合(*不明を含めた割合)	73.1%	75%	お口の健康に関するアンケート調査
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合(*不明を含めた割合)	62.8%	70%	お口の健康に関するアンケート調査
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成者)の割合(*不明を含めた割合)	33%	50%	お口の健康に関するアンケート調査
過去1年間に歯科健診を受診した者の割合	50.5%	65%	お口の健康に関するアンケート調査
意識してよく噛んでいる人の割合	17.6%	40%	お口の健康に関するアンケート調査
歯や口の健康や入れ歯の状態に満足している人の割合	26.2%	50%	お口の健康に関するアンケート調査
要介護者等歯科保健推進事業(県事業)を知っている施設の割合	50.0%	70%	福祉課 地域ケア会議資料

資料編



資料 1 平成 24 年度「お口の健康」に関するアンケート調査結果

1 調査目的

「歯や口の健康」を通して一人ひとりが豊かな人生を送るために、魚沼市の住民の歯や口の健康に関する現状、意識、行動及び考え等を把握し、魚沼市歯科保健計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施主体

魚沼市
新潟県魚沼保健所

3 協力機関

新潟県福祉保健部健康対策課
日本歯科大学新潟生命歯学部衛生学講座

4 調査対象

魚沼市民（小学校 4 年生全数〔328 名〕、中学校 1 年生全数〔368 名〕及び 16 歳以上 80 歳未満〔平成 24 年 10 月 1 日現在〕層化抽出 1,500 名）

5 調査方法

別紙調査用紙によるアンケート自記入方式。回答は任意かつ無記名。

小学校 4 年生及び中学校 1 年生は学校を通じて配布・回収し、16 歳以上は郵送により配布・回収する。

6 調査期間 平成 24 年 11 月

7 回答者数 小学生 316 人 中学生 359 人 一般市民 762 人

8 回収率 小学生 96.3% 中学生 97.6% 一般市民 50.8%

9 結果

小学生の結果

問 1 - 1 お住まいの地区

	回答数	構成比
1 堀之内	67	21.3%
2 小出	101	32.3%
3 湯之谷	48	15.3%
4 広神	61	19.4%
5 守門	26	8.3%
6 入広瀬	11	3.5%
7 無回答・不明	0	

問1 - 2 性別

	回答数	構成比
1 男性	130	41.1%
2 女性	176	55.7%
3 無回答・不明	10	3.2%

問1 - 3 昨年1年間の健康状態はいかがですか。

	回答数	構成比
1 よい	153	48.4%
2 まあよい	82	25.9%
3 ふつう	66	20.9%
4 あまりよくない	6	1.9%
5 よくない	1	0.3%
6 無回答・不明	8	2.5%

問2 - 1 1日のうちいつ歯をみがきますか（当てはまる番号すべてに○と回数を記入してください）。

	回答数	構成比
1 起床後（朝食前）	16	5.1%
2 朝食後	282	89.2%
3 昼食後	288	91.1%
4 夕食後	105	33.2%
5 寝る前	212	67.1%
6 みがかない	1	0.3%
7 その他	10	3.2%

計1日何回みがく。

	回答数	構成比
1 1回	4	1.3%
2 2回	43	13.6%
3 3回	229	72.5%
4 4回	24	7.6%
5 5回	3	0.9%
6 その他・不明	13	4.1%

問2 - 2 歯みがきの時に、歯と歯ぐきの境目をみがくよう意識していますか。

	回答数	構成比
1 はい	247	78.2%
2 いいえ	68	21.5%
3 無回答・不明	1	0.3%

問2 - 3 歯科医院へはどのような場合に行きますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 気になるところがなくても、歯や歯ぐきのチェックや歯石の除去、歯面の清掃のため定期的に行くようにしている	26	8.2%
2 気になるところがあると早めに行くようにしている	71	22.5%
3 健診や医師から歯科医院に行くように言われたら行く	97	30.7%
4 「痛い」などの悪い症状があったら行く	57	18.0%

5 「痛い」などの悪い症状があっても行かない（行けない）	5	1.6%
6 その他	45	14.2%
7 無回答・不明	15	4.7%

問2-4 この1年間に治療や健診で歯科医院に行きましたか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 はい	198	62.7%
2 いいえ	118	37.3%
3 無回答・不明	0	

問2-4-1 「いいえ」の方にお聞きします。行かない（行けない）理由はなんですか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 かかりつけの歯科医がない	3	2.5%
2 「痛い」などの気になるところがない	78	66.1%
3 職場や学校で実施すれば受けたいが歯科医院へ行くのは面倒	2	1.7%
4 忙しくて時間が無い	12	10.2%
5 お金がかかる	1	0.8%
6 その他	21	17.8%

問2-5 過去5年間に歯科医院で歯科保健指導を受けたことがありますか。

	回答数	構成比
歯みがき		
1 定期的に受けている	153	48.4%
2 受けたことはあるが定期的ではない	128	40.5%
3 いいえ	24	7.6%
4 無回答・不明	11	3.5%

デンタルフロス（糸付きようじなど）

1 定期的に受けている	41	13.0%
2 受けたことはあるが定期的ではない	161	50.9%
3 いいえ	102	32.3%
4 無回答・不明	12	3.8%

歯間ブラシ

1 定期的に受けている	24	7.6%
2 受けたことはあるが定期的ではない	76	24.1%
3 いいえ	198	62.7%
4 無回答・不明	18	5.7%

フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤の使用

1 定期的に受けている	149	47.2%
2 受けたことはあるが定期的ではない	42	13.3%
3 いいえ	98	31.0%
4 無回答・不明	27	8.5%

問3 - 1 あなたは歯周病という病気を知っていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 名前も内容も知っている	123	38.9%
2 名前だけ知っている	165	52.2%
3 知らない	24	7.6%
4 無回答・不明	4	1.3%

問3 - 2 あなたは歯周病を気にしていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 気にしている	115	36.4%
2 気にしていない	115	36.4%
3 どちらともいえない	82	25.9%
4 無回答・不明	4	1.3%

問3 - 3 歯周病予防のために、デンタルフロス（糸付きようじなど）や歯間ブラシを使用していますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 使用している	86	27.2%
2 使用していない	176	55.7%
3 どちらともいえない	49	15.5%
4 無回答・不明	5	1.6%

問3 - 4 あなたは自分の歯や口の健康についてどのように感じていますか。

	回答数	構成比
1 満足している	98	31.0%
2 やや不満だが日常生活には困らない	210	66.5%
3 不自由や苦痛を感じている	4	1.3%
4 無回答・不明	4	1.3%

問3 - 5 この1年間で歯や歯ぐきのことが原因で、次のような生活上の困りごとがありましたか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 勉強、趣味、部活動などに支障があったことがある	4	1.3%
2 よく眠れなかったことがある	17	5.4%
3 おいしく食事ができなかったことがある	28	8.9%
4 会話をしたり、笑うことができなかったことがある	4	1.3%
5 特になかった	265	83.9%
6 その他	4	1.3%

問3 - 6 あなたは現在、歯や口の中に悩み事がありますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 歯が痛んだり、しみたりする	20	6.3%
2 歯みがきをすると血が出る	35	11.1%
3 口臭がある	13	4.1%
4 歯ぐきがむずがゆく、歯が浮いたような感じがする	1	0.3%
5 歯ぐきが赤く腫れてぶよぶよする	5	1.6%
6 固いものがかみにくい	16	5.1%

7	歯並びやかみ合わせが気になる	74	23.4%
8	あごの関節が痛い	3	0.9%
9	その他	10	3.2%
10	悩みごとはない	177	56.0%

問4 - 1 毎日の食事がおいしく食べられますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比	
1	なんでもおいしく食べることができる	221	69.9%
2	固くてかみにくい食物がある	20	6.3%
3	好き嫌いが多い	85	26.9%
4	飲み込みにくい	7	2.2%
5	味がわからない	93	29.4%
6	口が乾く	13	4.1%
7	その他	0	

問4 - 2 朝ごはんを食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	毎日食べる	294	93.0%
2	週4～6日食べる	8	2.5%
3	週1～3日食べる	3	0.9%
4	食べない	1	0.3%
5	無回答・不明	10	3.2%

問4 - 3 毎日の食事で気をつけていることは何ですか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比	
1	食事を3回食べている	259	82.0%
2	バランスよく食べている	122	38.6%
3	食事の量に気をつけている	74	23.4%
4	野菜を多く食べている	110	34.8%
5	塩分をひかえている	52	16.5%
7	菓子やジュースをひかえている	74	23.4%
8	その他	6	1.9%

問4 - 4 間食（おやつ）は食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	毎日食べる	131	41.5%
2	週4～6日食べる	80	25.3%
3	週1～3日食べる	91	28.8%
4	食べない	10	3.2%
5	無回答・不明	4	1.3%

問4 - 5 甘味のある飲み物（ジュース、炭酸飲料、スポーツ飲料、缶コーヒー、乳酸菌飲料等）は飲みますか？（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	毎日飲む	41	13.0%
2	週4～6日飲む	66	20.9%

3 週1～3日飲む	166	52.5%
4 飲まない	39	12.3%
5 無回答・不明	4	1.3%

問4 - 6 よくかんで食べていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 意識してよくかんでいる	140	44.3%
2 意識していない	93	29.4%
3 どちらともいえない	72	22.8%
4 無回答・不明	11	3.5%

問5 - 1 「^{はちまるにいまる}8020運動」(80歳になっても自分の歯を20本持つことを目標とした歯の健康づくり対策)について知っていますか。

	回答数	構成比
1 意味を知っている	148	46.8%
2 言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	70	22.2%
3 わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	89	28.2%
4 無回答・不明	9	2.8%

問5 - 2 「歯の衛生週間」(6月4日～10日)について知っていますか。

	回答数	構成比
1 意味を知っている	48	15.2%
2 言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	140	44.3%
3 わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	119	37.7%
4 無回答・不明	9	2.8%

問5 - 3 「いい歯の日」(11月8日)について知っていますか。

	回答数	構成比
1 意味を知っている	84	26.6%
2 言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	156	49.4%
3 わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	67	21.2%
4 無回答・不明	9	2.8%

中学生の結果

問1 - 1 お住まいの地区

	回答数	構成比
1 堀之内	70	19.5%
2 小出	110	30.6%
3 湯之谷	60	16.7%
4 広神	81	22.6%
5 守門	22	6.1%
6 入広瀬	16	4.5%
7 無回答・不明	0	

問1 - 2 性別

	回答数	構成比
1 男性	172	47.9%
2 女性	173	48.2%
3 無回答・不明	14	3.9%

問1 - 3 昨年1年間の健康状態はいかがですか。

	回答数	構成比
1 よい	171	47.6%
2 まあよい	113	31.5%
3 ふつう	56	15.6%
4 あまりよくない	8	2.2%
5 よくない	2	0.6%
6 無回答・不明	9	2.5%

問2 - 1 1日のうちいつ歯をみがきますか（当てはまる番号すべてに○と回数を記入してください）。

	回答数	構成比
1 起床後（朝食前）	34	9.5%
2 朝食後	323	90.0%
3 昼食後	308	85.8%
4 夕食後	146	40.7%
5 寝る前	228	63.5%
6 みがかない	3	0.8%
7 その他	7	1.9%

計1日何回みがく。

	回答数	構成比
1 0回	2	0.6%
2 1回	6	1.7%
3 2回	47	13.1%
4 3回	250	69.6%
5 4回	30	8.4%
6 5回	5	1.4%
7 その他、不明	19	5.3%

問2 - 2 歯みがきの時に、歯と歯ぐきの境目をみがくよう意識していますか。

	回答数	構成比
1 はい	287	79.9%
2 いいえ	71	19.8%
3 無回答・不明	1	0.3%

問2 - 3 歯科医院へはどのような場合に行きますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 気になるところがなくても、歯や歯ぐきのチェックや歯石の除去、歯面の清掃のため定期的に行くようにしている	23	6.4%
2 気になるところがあると早めに行くようにしている	79	22.0%
3 健診や医師から歯科医院に行くように言われたら行く	146	40.7%

4 「痛い」などの悪い症状があったら行く	62	17.3%
5 「痛い」などの悪い症状があっても行かない（行けない）	5	1.4%
6 その他	28	7.8%
7 無回答・不明	16	4.5%

問2 - 4 この1年間に治療や健診で歯科医院に行きましたか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 はい	173	48.2%
2 いいえ	185	51.5%
3 無回答・不明	1	0.3%

問2 - 4 - 1 「いいえ」の方にお聞きします。行かない（行けない）理由はなんですか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 かかりつけの歯科医がない	1	0.5%
2 「痛い」などの気になるところがない	138	74.6%
3 職場や学校で実施すれば受けたいが歯科医院へ行くのは面倒	7	3.8%
4 忙しくて時間が無い	8	4.3%
5 お金がかかる	3	1.6%
6 その他	24	13.0%

問2 - 5 過去5年間に歯科医院で歯科保健指導を受けたことがありますか。

	回答数	構成比
歯みがき		
1 定期的に受けている	76	21.2%
2 受けたことはあるが定期的ではない	247	68.8%
3 いいえ	30	8.4%
4 無回答・不明	6	1.7%

デンタルフロス（糸付きようじなど）

1 定期的に受けている	52	14.5%
2 受けたことはあるが定期的ではない	232	64.6%
3 いいえ	68	18.9%
4 無回答・不明	7	1.9%

歯間ブラシ

1 定期的に受けている	33	9.2%
2 受けたことはあるが定期的ではない	151	42.1%
3 いいえ	167	46.5%
4 無回答・不明	8	2.2%

フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤の使用

1 定期的に受けている	158	44.0%
2 受けたことはあるが定期的ではない	98	27.3%
3 いいえ	96	26.7%
4 無回答・不明	7	1.9%

問3 - 1 あなたは歯周病という病気を知っていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 名前も内容も知っている	234	65.2%
2 名前だけ知っている	118	32.9%
3 知らない	6	1.7%
4 無回答・不明	1	0.3%

問3 - 2 あなたは歯周病を気にしていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 気にしている	175	48.7%
2 気にしていない	86	24.0%
3 どちらともいえない	98	27.3%
4 無回答・不明	0	

問3 - 3 歯周病予防のために、デンタルフロス（糸付きようじなど）や歯間ブラシを使用していますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 使用している	91	25.3%
2 使用していない	195	54.3%
3 どちらともいえない	73	20.3%
4 無回答・不明	0	

問3 - 4 あなたは自分の歯や口の健康についてどのように感じていますか。

	回答数	構成比
1 満足している	170	47.4%
2 やや不満だが日常生活には困らない	186	51.8%
3 不自由や苦痛を感じている	2	0.6%
4 無回答・不明	1	0.3%

問3 - 5 この1年間で歯や歯ぐきのことが原因で、次のような生活上の困りごとがありましたか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 勉強、趣味、部活動などに支障があったことがある	6	1.7%
2 よく眠れなかったことがある	3	0.8%
3 おいしく食事ができなかったことがある	11	3.1%
4 会話をしたり、笑うことができなかったことがある	5	1.4%
5 特になかった	323	90.0%
6 その他	5	1.4%

問3 - 6 あなたは現在、歯や口の中に悩み事がありますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 歯が痛んだり、しみたりする	17	4.7%
2 歯みがきをすると血が出る	30	8.4%
3 口臭がある	10	2.8%
4 歯ぐきがむずがゆく、歯が浮いたような感じがする	4	1.1%
5 歯ぐきが赤く腫れてぶよぶよする	3	0.8%
6 固いものがかみにくい	4	1.1%

7	歯並びやかみ合わせが気になる	59	16.4%
8	あごの関節が痛い	7	1.9%
9	その他	16	4.5%
10	悩みごとはない	246	68.5%

問4 - 1 毎日の食事がおいしく食べられますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1	なんでもおいしく食べることができる	273 76.0%
2	固くてかみにくい食物がある	8 2.2%
3	好き嫌いが多い	96 26.7%
4	飲み込みにくい	1 0.3%
5	味がわからない	0
6	口が乾く	13 3.6%
7	その他	8 2.2%

問4 - 2 朝ごはんを食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1	毎日食べる	326 90.8%
2	週4～6日食べる	22 6.1%
3	週1～3日食べる	1 0.3%
4	食べない	4 1.1%
5	無回答・不明	6 1.7%

問4 - 3 毎日の食事で気をつけていることは何ですか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1	食事を3回食べている	316 88.0%
2	バランスよく食べている	161 44.8%
3	食事の量に気をつけている	106 29.5%
4	野菜を多く食べている	123 34.3%
5	塩分をひかえている	46 12.8%
6	油物をひかえている	65 18.1%
7	菓子やジュースをひかえている	75 20.9%
8	その他	7 1.9%

問4 - 4 間食（おやつ）は食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1	毎日食べる	76 21.2%
2	週4～6日食べる	92 25.6%
3	週1～3日食べる	168 46.8%
4	食べない	22 6.1%
5	無回答・不明	1 0.3%

問4 - 5 甘味のある飲み物（ジュース、炭酸飲料、スポーツ飲料、缶コーヒー、乳酸菌飲料等）は飲みますか？（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1	毎日飲む	39 10.9%

2	週4～6日飲む	88	24.5%
3	週1～3日飲む	193	53.8%
4	飲まない	38	10.6%
5	無回答・不明	1	0.3%

問4 - 6 よくかんで食べていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	意識してよくかんでいる	151	42.1%
2	意識していない	107	29.8%
3	どちらともいえない	97	27.0%
4	無回答・不明	4	1.1%

問5 - 1 あなたはたばこを吸うと歯周病になりやすいことを知っていますか。

	回答数	構成比	
1	はい	224	62.4%
2	いいえ	133	37.0%
3	無回答・不明	2	0.6%

問5 - 2 「8020運動」（80歳になっても自分の歯を20本持つことを目標とした歯の健康づくり対策）について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	304	84.7%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	45	12.5%
3	わからない（今回の調査で初めて聞いた場合も含む）	7	1.9%
4	無回答・不明	3	0.8%

問5 - 3 「歯の衛生週間」（6月4日～10日）について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	79	22.0%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	170	47.4%
3	わからない（今回の調査で初めて聞いた場合も含む）	107	29.8%
4	無回答・不明	3	0.8%

問5 - 4 「いい歯の日」（11月8日）について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	114	31.8%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	190	52.9%
3	わからない（今回の調査で初めて聞いた場合も含む）	52	14.5%

一般市民の結果

問1 - 1 年齢（平成24年10月1日現在の年齢）

	回答数	構成比	
1	16～19歳	47	6.2%
2	20歳代	63	8.3%
3	30歳代	89	11.6%
4	40歳代	95	12.5%

5	50歳代	138	18.1%
6	60歳代	147	19.3%
7	70歳代	166	21.8%
8	無回答・不明	17	2.2%

問1 - 2 40歳以上の方にお伺いします。現在要介護認定を受けていますか。

	回答数	構成比
1 はい	14	1.8%
2 いいえ	531	69.7%
3 非該当	217	28.5%

問1 - 3 お住まいの地区

	回答数	構成比
1 堀之内	171	22.4%
2 小出	211	27.7%
3 湯之谷	122	16.0%
4 広神	146	19.2%
5 守門	71	9.3%
6 入広瀬	33	4.3%
7 無回答・不明	8	1.0%

問1 - 4 性別

	回答数	構成比
1 男性	344	45.1%
2 女性	378	49.6%
3 無回答・不明	40	5.2%

問1 - 5 昨年1年間の健康状態はいかがですか。

	回答数	構成比
1 よい	241	31.6%
2 まあよい	169	22.2%
3 ふつう	245	32.2%
4 あまりよくない	77	10.1%
5 よくない	14	1.8%
6 無回答・不明	16	2.1%

問2 - 1 1日のうちいつ歯をみがきますか（当てはまる番号すべてに○と回数を記入してください）。

	回答数	構成比
1 起床後（朝食前）	163	21.4%
2 朝食後	558	73.2%
3 昼食後	267	35.0%
4 夕食後	218	28.6%
5 寝る前	421	55.2%
6 みがかない	7	0.9%
7 その他	30	3.9%

計 1 日何回みがく。

	回答数	構成比
1 0回	9	1.2%
2 1回	172	22.6%
3 2回	306	40.2%
4 3回	234	30.7%
5 4回	34	4.5%
6 5回	7	0.9%

問 2 - 2 歯科医院へはどのような場合に行きますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 気になるところがなくても、歯や歯ぐきのチェックや歯石の除去、歯面の清掃のため定期的に行くようにしている	74	9.7%
2 気になるところがあると早めに行くようにしている	192	25.2%
3 健診や医師から歯科医院に行くように言われたら行く	33	4.3%
4 「痛い」などの悪い症状があったら行く	390	51.2%
5 「痛い」などの悪い症状があっても行かない（行けない）	11	1.4%
6 その他	31	4.1%
7 無回答・不明	31	4.1%

問 2 - 3 あなたはかかりつけの歯科医がいますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 はい	581	76.2%
2 いいえ	172	22.6%
3 無回答・不明	9	1.2%

問 2 - 4 この 1 年間に治療や健診で歯科医院に行きましたか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 はい	385	50.5%
2 いいえ	369	48.4%
3 無回答・不明	8	1.0%

問 2 - 4 - 1 「いいえ」の方にお聞きします。行かない（行けない）理由はなんですか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 かかりつけの歯科医がない	3	0.8%
2 「痛い」などの気になるところがない	275	74.5%
3 職場や学校で実施すれば受けたいが歯科医院へ行くのは面倒	9	2.4%
4 忙しくて時間が無い	28	7.6%
5 お金がかかる	13	3.5%
6 その他	27	7.3%

問 2 - 5 過去 5 年間に歯科医院で歯科保健指導を受けたことがありますか。

	回答数	構成比
歯みがき		
1 定期的に受けている	42	5.5%
2 受けたことはあるが定期的ではない	288	37.8%

3	いいえ	346	45.4%
4	無回答・不明	86	11.3%

デンタルフロス（糸付きようじなど）

1	定期的に受けている	19	2.5%
2	受けたことはあるが定期的ではない	153	20.1%
3	いいえ	463	60.8%
4	無回答・不明	127	16.7%

歯間ブラシ

1	定期的に受けている	38	5.0%
2	受けたことはあるが定期的ではない	181	23.8%
3	いいえ	432	56.7%
4	無回答・不明	111	14.6%

フッ化物（フッ素）入り歯みがき剤の使用

1	定期的に受けている	25	3.3%
2	受けたことはあるが定期的ではない	76	10.0%
3	いいえ	545	71.5%
4	無回答・不明	116	15.2%

問3 - 1 あなたは歯周病という病気を知っていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	名前も内容も知っている	429	56.3%
2	名前だけ知っている	275	36.1%
3	知らない	12	1.6%
4	無回答・不明	46	6.0%

問3 - 2 あなたは歯周病を気にしていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	気にしている	390	51.2%
2	気にしていない	182	23.9%
3	どちらともいえない	140	18.4%
4	無回答・不明	50	6.6%

問3 - 3 歯周病予防のために、デンタルフロス（糸付きようじなど）や歯間ブラシを使用していますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比	
1	使用している	221	29.0%
2	使用していない	410	53.8%
3	どちらともいえない	76	10.0%
4	無回答・不明	55	7.2%

問3 - 4 あなたは自分の歯や口の健康についてどのように感じていますか。

	回答数	構成比	
1	満足している	200	26.2%
2	やや不満だが日常生活には困らない	459	60.2%
3	不自由や苦痛を感じている	50	6.6%

4 無回答・不明 53 7.0%

問3 - 5 この1年間で歯や歯ぐきのことが原因で、次のような生活上の困りごとがありましたか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 仕事、家事、学業、趣味などに支障があったことがある	26	3.4%
2 よく眠れなかったことがある	20	2.6%
3 おいしく食事ができなかったことがある	140	18.4%
4 会話をしたり、笑うことができなかったことがある	34	4.5%
5 特になかった	492	64.6%
6 その他	25	3.3%

問3 - 6 あなたは現在、歯や口の中に悩み事がありますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 歯が痛んだり、しみたりする	122	16.0%
2 歯みがきをすると血が出る	66	8.7%
3 口臭がある	94	12.3%
4 歯ぐきがむずがゆく、歯が浮いたような感じがする	22	2.9%
5 歯ぐきが赤く腫れてぶよぶよする	19	2.5%
6 固いものがかみにくい	123	16.1%
7 歯並びやかみ合わせが気になる	122	16.0%
8 あごの関節が痛い	16	2.1%
9 その他	45	5.9%
10 悩みごとはない	232	30.4%

問3 - 7 あなたの口の中には何本の歯がありますか。

	回答数	構成比
1 0本	25	3.3%
2 1～9本	44	5.8%
3 10～19本	61	8.0%
4 20～23本	38	5.0%
5 24～27本	127	16.7%
6 28本以上	365	47.9%
7 無回答・不明	102	13.4%

問4 - 1 毎日の食事がおいしく食べられますか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 なんでもおいしく食べることができる	532	69.8%
2 固くてかみにくい食物がある	168	22.0%
3 好き嫌いが多い	44	5.8%
4 飲み込みにくい	9	1.2%
5 味がわからない	9	1.2%
6 口が乾く	42	5.5%
7 その他	9	1.2%

問4 - 2 朝ごはんを食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 毎日食べる	618	81.1%
2 週4～6日食べる	35	4.6%
3 週1～3日食べる	26	3.4%
4 食べない	27	3.5%
5 無回答・不明	56	7.3%

問4 - 3 毎日の食事で気をつけていることは何ですか（当てはまるもの全てに○をつけてください）。

	回答数	構成比
1 食事を3回食べている	515	67.6%
2 バランスよく食べている	249	32.7%
3 食事の量に気をつけている	262	34.4%
4 野菜を多く食べている	321	42.1%
5 塩分をひかえている	212	27.8%
6 油物をひかえている	142	18.6%
7 菓子やジュースをひかえている	154	20.2%
8 飲酒をひかえている	121	15.9%
9 その他	20	2.6%

問4 - 4 間食（おやつ）は食べますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 毎日食べる	231	30.3%
2 週4～6日食べる	118	15.5%
3 週1～3日食べる	244	32.0%
4 食べない	101	13.3%
5 無回答・不明	68	8.9%

問4 - 5 甘味のある飲み物（ジュース、炭酸飲料、スポーツ飲料、缶コーヒー、乳酸菌飲料等）は飲みますか？（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 毎日飲む	139	18.2%
2 週4～6日飲む	82	10.8%
3 週1～3日飲む	274	36.0%
4 飲まない	205	26.9%
5 無回答・不明	62	8.1%

問4 - 6 よくかんで食べていますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 意識してよくかんでいる	134	17.6%
2 意識していない	432	56.7%
3 どちらともいえない	147	19.3%
4 無回答・不明	49	6.4%

問5 - 1 あなたはたばこを吸いますか（最も当てはまるもの一つに○）。

	回答数	構成比
1 吸わない	474	62.2%

2	以前は吸っていたがやめた	136	17.8%
3	吸っている	142	18.6%
4	無回答・不明	10	1.3%

問5 - 2 あなたはたばこを吸うと歯周病になりやすいことを知っていますか。

	回答数	構成比	
1	はい	303	39.8%
2	いいえ	418	54.9%
3	無回答・不明	41	5.4%

問5 - 3 「8020運動」(80歳になっても自分の歯を20本持つことを目標とした歯の健康づくり対策)について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	315	41.3%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	113	14.8%
3	わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	319	41.9%
4	無回答・不明	15	2.0%

問5 - 4 「歯の衛生週間」(6月4日～10日)について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	254	33.3%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	226	29.7%
3	わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	266	34.9%
4	無回答・不明	16	2.1%

問5 - 5 「いい歯の日」(11月8日)について知っていますか。

	回答数	構成比	
1	意味を知っている	188	24.7%
2	言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない	214	28.1%
3	わからない(今回の調査で初めて聞いた場合も含む)	347	45.5%
4	無回答・不明	13	1.7%

問5 - 6 歯や口の健康に関してどんな要望がありますか(当てはまるもの全てに○をつけてください)。

	回答数	構成比	
1	歯のみがき方や入れ歯の手入れ方法を体験する機会があるとよい	112	14.7%
2	成人の健診と一緒に歯の健診も行うとよい	282	37.0%
3	歯と口の健康に関する住民参加のイベントを行うとよい	23	3.0%
4	歯と関係のある全身的な病気について知る機会があるとよい	252	33.1%
5	歯と口のことで歯科医師や歯科衛生士に気軽に相談できる機会があるとよい	153	20.1%
6	成人に対して定期的に歯や歯ぐきを検査する機会があるとよい	180	23.6%
7	同じ世代でグループを作って歯や口のことについて勉強するとよい	7	0.9%
8	要介護者の口の清掃方法について体験する機会があると		

よい	64	8.4%
9 歯や歯ぐきの健康につながる食事について知る機会があるとよい	157	20.6%
10 むし歯の状況など市民の歯の状況を知る機会があるとよい	39	5.1%
11 歯の健康のスローガンがあるとよい	20	2.6%
12 子どもたちのむし歯予防を行うとよい	225	29.5%
13 その他	41	5.4%

フォーカスグループインタビュー及びアンケート

ライフステージ	インタビュー等の日時	グループ	参加人数
乳幼児期	平成 25 年 2 月 19 日	2 歳児歯科健診出席の保護者	女性 5 人
園児期	平成 24 年 10 月～12 月	保育園・幼稚園のむし歯予防教室参加の保護者	249 人（アンケート回答人数）
児童・生徒期	平成 25 年 2 月 18 日	小中学生の保護者（市役所職員）	男性 5 人
成人期（妊娠期含む）	平成 25 年 1 月 22 日	J P ハイテック従業員	7 人（男性 4 人、女性 3 人）
	平成 25 年 2 月 14 日	佐藤組従業員	男性 6 人
	平成 25 年 2 月 18 日	市役所職員	男性 5 人
	平成 25 年 1 月 26 日	パパママ準備教室参加者	12 人（男性 3 人、女性 9 人）
	平成 25 年 1 月 30 日	就労継続支援事業所通所者	10 人（男性 7 人、女性 3 人）
高齢期	平成 25 年 2 月 5 日	生きがいデイサービス参加者	女性 5 人
要介護者等	平成 25 年 2 月 6 日	介護施設職員	女性 5 人



資料 2 魚沼市国民健康保険医療費の分析の概要

使用したデータ：平成 20 年度から平成 22 年度の魚沼市国民健康保険のレセプトデータ。
 分類方法：「社会保険表章用疾病分類表（疾病大分類は 19 分類、疾病中分類は 121 分類）」に基づいた分類。レセプト 1 枚に複数の疾病がある場合はレセプトの主たる疾病を基に分析。

1 魚沼市の現状

● 人口と国保加入状況（平成 24 年 3 月末現在）

- ・ 人口：40,465 人
- ・ 世帯数：13,456 世帯
- ・ 国保被保険者数：11,219 人（人口加入率 22.7%）
- ・ 国保加入世帯数：6,068 世帯（世帯加入率 45.1%）

魚沼市の人口及び世帯数は減少傾向である。国保の人口加入率、世帯加入率は横ばいで推移している。

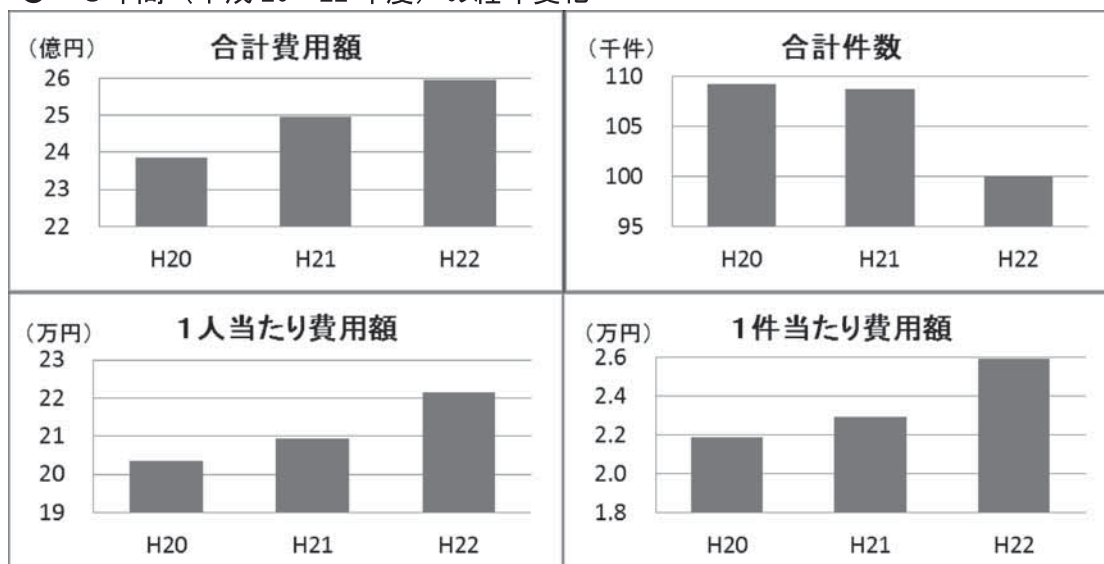
2 魚沼市国保の医療費の状況

● 平成 22 年度の状況

- ・ 合計費用額：25 億 9578 万円 県内 15/31 位
- ・ 合計件数：10 万 78 件 県内 16/31 位
- ・ 1 人当たり費用額：22 万 1445 円 県内 26/31 位
- ・ 1 件当たり費用額：2 万 5938 円 県内 10/31 位

合計費用額、合計件数ともに魚沼市は県内市町村の中で中間の位置にある。1 人当たり費用額は低いが、1 件あたり費用額が高いことから、魚沼市の国保被保険者は軽症の際に受診を控え重症化してから受診及び治療をしている可能性が示唆される。

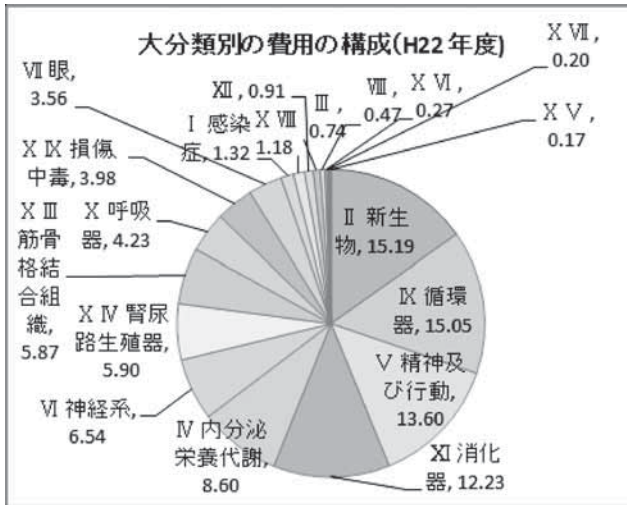
● 3 年間（平成 20～22 年度）の経年変化



合計費用額は 3 年間で約 2 億円、1 人当たり費用額は約 2 万円増加している。合計件数は減少しているが、1 件当たり費用額は増加している。魚沼市は県内他市町村に比べ突出して医療費がかかっているわけではないが、全体の医療費が増大している。

3 魚沼市被保険者の疾病構造

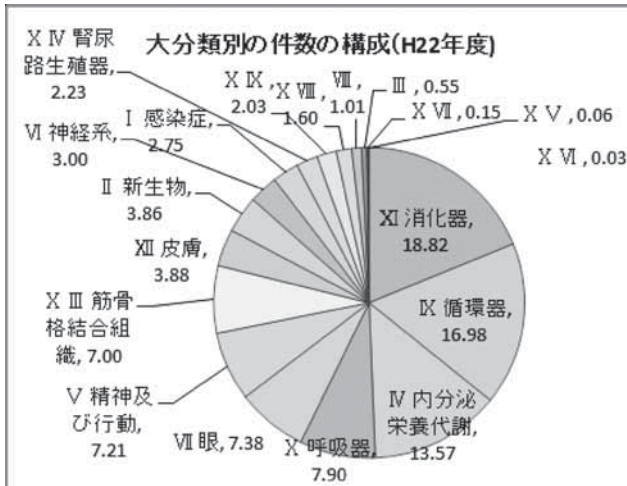
● 費用額から見た状況



中分類別 1人当たり費用額
ランキング (H22年度)

順位	疾病名	(円)
1	統合失調症	18,926
2	歯の疾患	17,911
3	神経系の疾患	14,478
4	筋骨格系の疾患	12,993
5	糖尿病	12,357
6	高血圧	11,610
7	その他の悪性新生物	10,322
8	腎不全	9,780
9	呼吸器系の疾患	9,360
10	損傷、中毒	8,815

● 件数から見た状況



中分類別 件数ランキング (H22年度)

順位	疾病名	(件)
1	歯の疾患	13,751
2	高血圧	12,401
3	眼の疾患	7,383
4	筋骨格系の疾患	7,003
5	その他の内分泌疾患	6,805
6	糖尿病	6,324
7	皮膚の疾患	3,885
8	気分[感情]障害	3,084
9	神経系の疾患	3,006
10	胃及び十二指腸の疾患	2,960

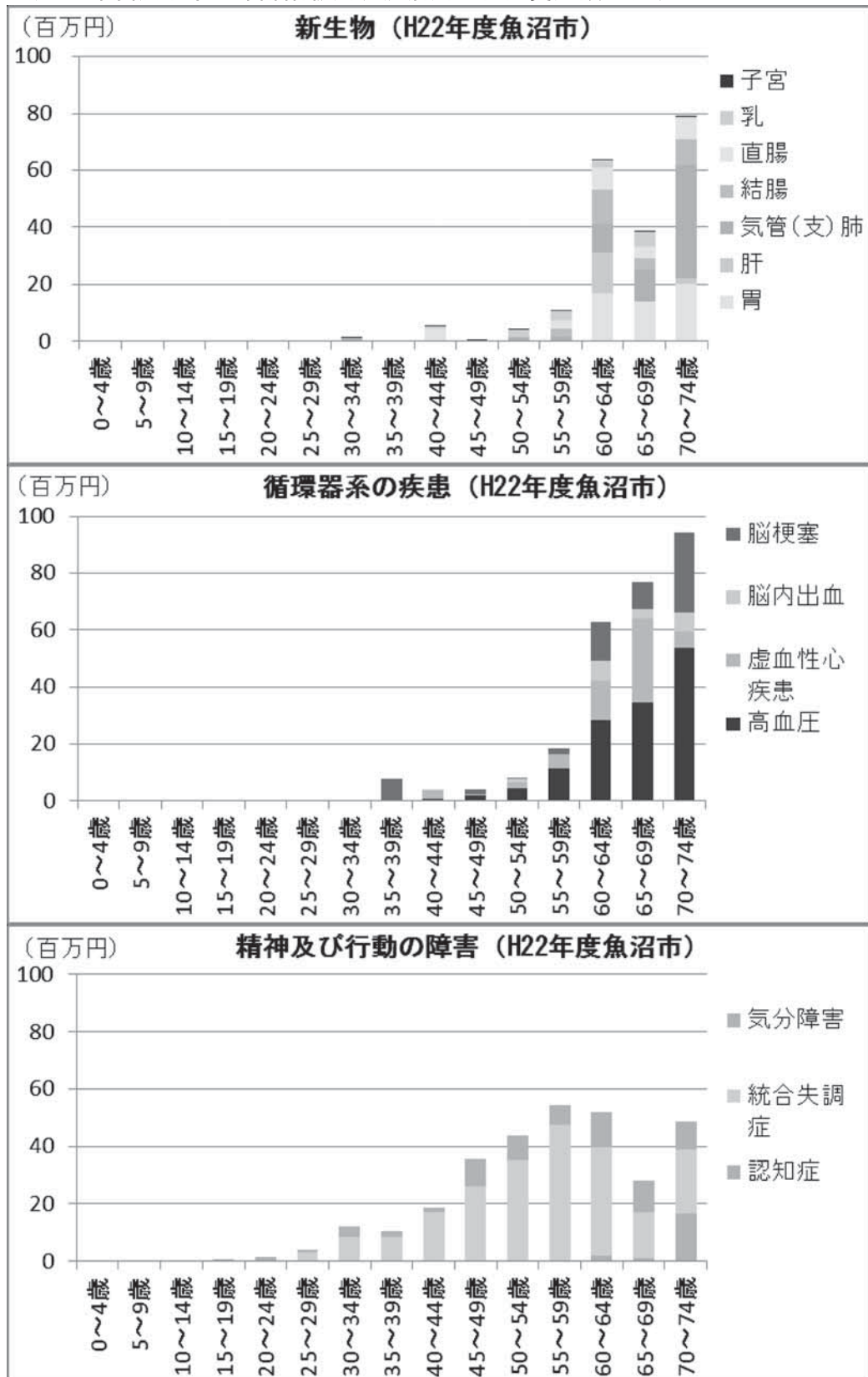
● 社会保険表章用疾病分類表の疾病分類

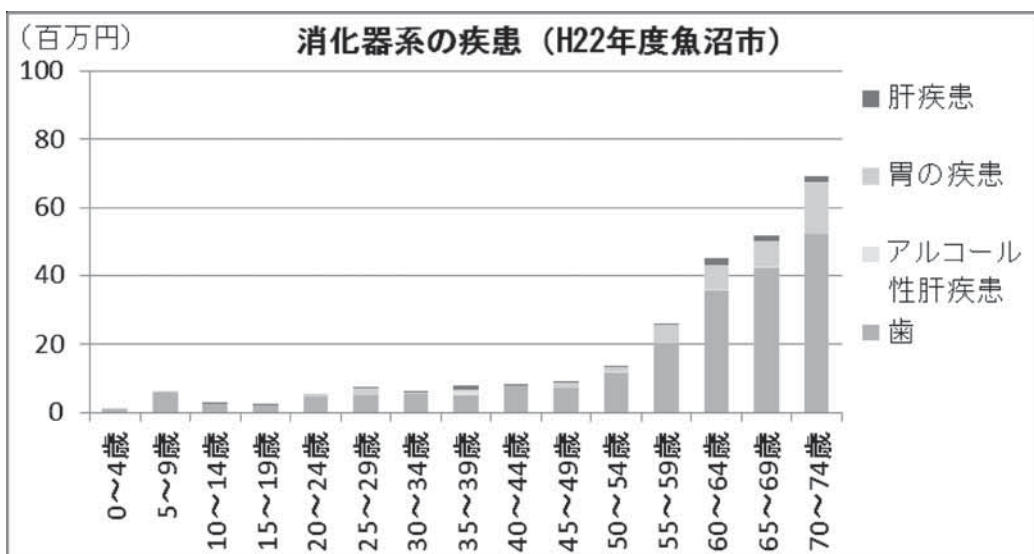
上記のランキングの表の疾病名の「歯の疾患」は、中分類のコード 1101～1103 の3つの合計である。歯の疾患の費用額の内訳は「1101 う蝕」が 99.8%、「1102」と「1103」を合わせて 0.2%である。

大分類	中分類	大分類	中分類
消化器系の疾患	1101 う蝕	消化器系の疾患	1107 慢性肝炎（アルコール性のものを除く）
	1102 歯肉炎及び歯周疾患		1108 肝硬変（アルコール性のものを除く）
	1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害		1109 その他の肝疾患
	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		1110 胆石症及び胆のう炎
	1105 胃炎及び十二指腸炎		1111 膵疾患
	1106 アルコール性肝疾患		1112 その他の消化器系の疾患

4 疾病分類別の分析

- 平成22年度魚沼市の年齢階級別、疾病別の合計費用額のグラフ

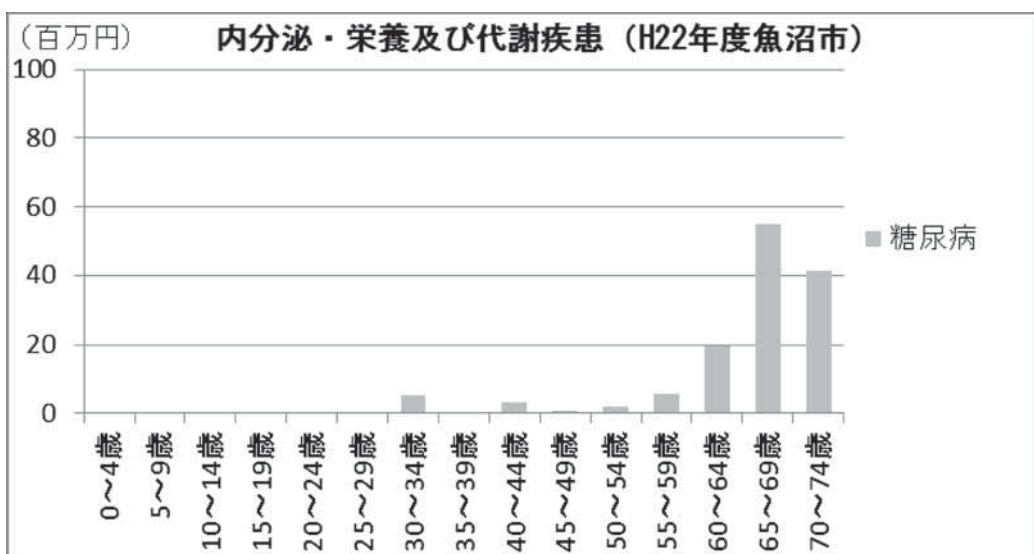




消化器系の疾患の合計費用額：3億1757万円

消化器系の疾患の1人当たり費用額：2万7092円 県内29/31位

消化器系の疾患の1件当たり費用額：1万6864円 県内12/31位



新生物、循環器系の疾患、内分泌・栄養及び代謝疾患は60代及び70代が多く費用額をかけている。消化器系の疾患、精神及び行動の障害は広い年代で費用額がかかっている。

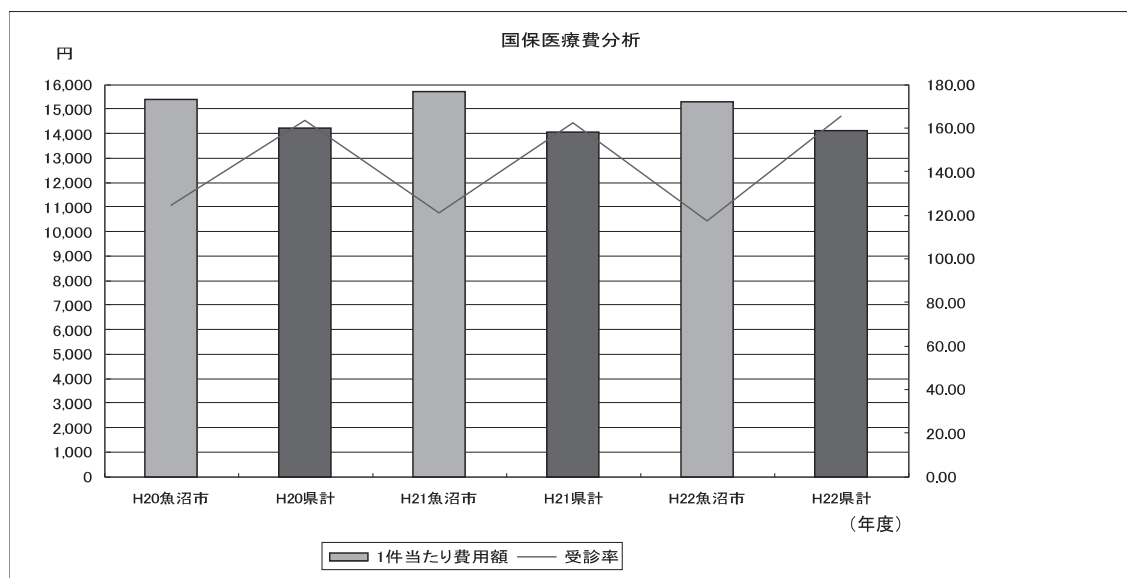
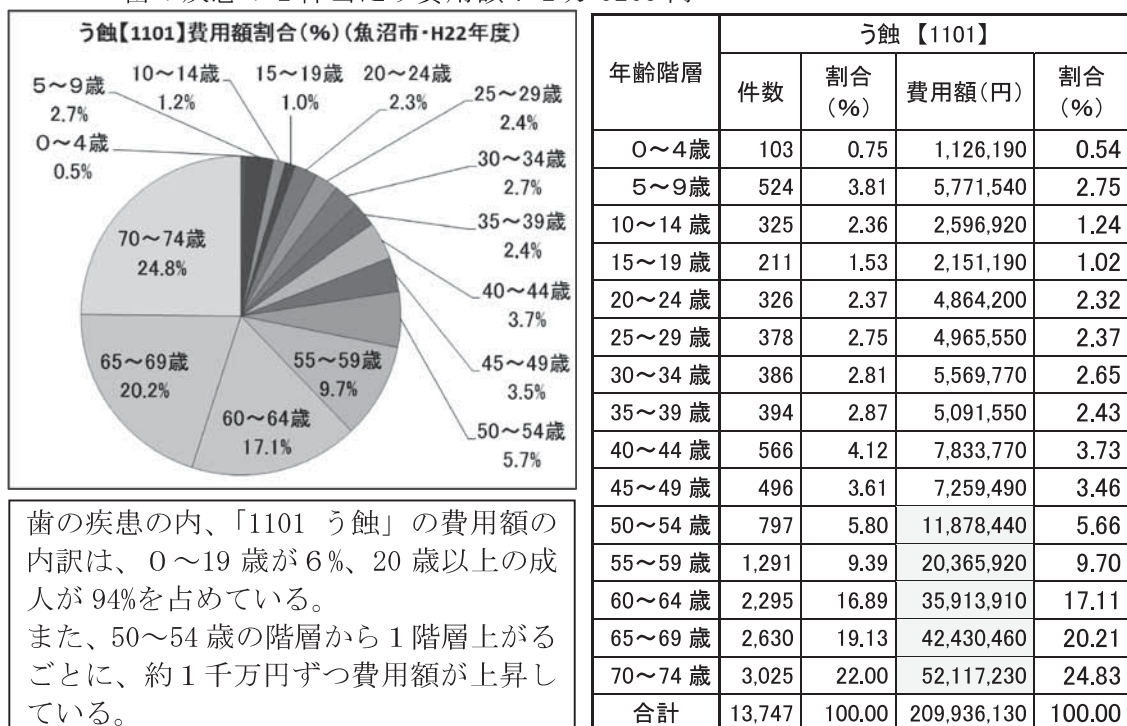
消化器系の疾患も全体の医療費と同様（県内市町村の順位）に、1人当たり費用額は低いが、1件あたり費用額が高いことから、軽症の際に受診を控え重症化してから受診及び治療をしている可能性が示唆される。

消化器系の疾患の合計費用額の66.1%にあたる2億995万円が、「1101～1103」の歯の疾患の合計費用額。

5 中分類「1101～1103 歯の疾患」の医療費の状況

● 平成 22 年度の状況

- ・ 歯の疾患の合計費用額：2億995万円（内訳：「1101」が99.8%、「1102」と「1103」の合計が0.2%）
- ・ 歯の疾患の1人当たり費用額：1万7911円
- ・ 歯の疾患の1件当たり費用額：1万5268円



1件当たり費用額が県計より高く、受診率が低い状況である。このことは、症状が悪化してから通院し、「定期的に歯科医療機関にかかって予防しよう」「自分の体のメンテナンスをしよう」という意識が低い可能性が示唆される。

資料3 計画策定の経過

年月日	説明
平成24年9月～ 平成25年2月	魚沼市国民健康保険医療費分析
平成24年9月25日～ 10月10日	歯科保健計画策定委員会の委員の公募
平成24年11月26日～ 12月10日	お口の健康に関するアンケート調査の実施
平成24年12月13日	第1回 魚沼市歯科保健計画策定委員会 (策定委員の委嘱、計画策定の概要、アンケートについて)
平成25年1月～2月	フォーカスグループインタビューの実施
平成25年2月5日	第1回 魚沼市歯科保健計画調整会議(ワーキンググループ) (計画策定について、会議の進め方、計画の構成・内容等の検討)
平成25年2月26日	第2回 魚沼市歯科保健計画調整会議(ワーキンググループ) (市民アンケートの結果・分析、分野ごとの現状と課題、目指すべき方向性、素案の検討)
平成25年3月13日	第3回 魚沼市歯科保健計画調整会議(ワーキンググループ) (素案の検討・まとめ、パブリックコメントの募集について)
平成25年6月5日	第2回 魚沼市歯科保健計画策定委員会 (市民アンケートの結果・分析、素案の検討、パブリックコメントの募集について)
平成25年8月26日～ 9月24日	パブリックコメントの実施
平成25年11月27日	第3回 魚沼市歯科保健計画策定委員会 (素案の検討、パブリックコメントの結果について、概要版の検討)

資料4 計画検討組織 委員名簿

1 魚沼市歯科保健計画策定委員会 (敬称略)

区分	団体名等	氏名	備考
1号委員	日本歯科大学 名誉教授	末高 武彦	
〃	日本歯科大学新潟生命歯学部 教授	小松崎 明	
2号委員	小千谷北魚沼歯科医師会	石上 也澄志	
〃	魚沼市薬剤師会	田中 敏宣	
3号委員	魚沼市食生活改善推進員協議会	関矢 百合子	
〃	魚沼市社会福祉協議会	森山 君江	
〃	小出調理師会	渡邊 勉	
4号委員	魚沼地域振興局健康福祉部 医監	武藤 謙介	
5号委員	公募委員	星 俊寛	

○事務局 健康課健康増進室

2 魚沼市歯科保健計画調整会議 (敬称略)

課等	所属等	氏名	備考
福祉課	厚生室 障害福祉係	桑原 弘幸	障害福祉計画
	介護福祉室 高齢福祉係	広井 美智子	高齢者福祉計画
	介護福祉室 地域支援係	上村 八重子	介護保険事業計画
教育委員会	学校教育課 (学務班)	小林 孝子	学校保健計画
	養護教諭部会	吉田 いづみ	学校保健計画
	子ども課 (保育園幼稚園係)	戸田 千穂子	次世代育成支援行動計画
	保育園	阿部 良子	保育士
アドバイザー	日本歯科大学 名誉教授	末高 武彦	
	在宅歯科衛生士	星 紀子	

○事務局 健康課健康増進室

魚沼市歯科保健計画

発行日 平成 26 年 3 月
発行 魚沼市 健康課 健康増進室
〒946-8511 新潟県魚沼市大沢 213 番地 1
電話 025-792-9763
FAX 025-792-7600
電子メール uc903901@city.uonuma.niigata.jp

魚沼市歯科保健計画は、新潟県の「条例推進重点市町村支援事業」
を活用して作成しました。